

I 常設展示

1 本館

(1) 常設展示

本年度は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う修繕工事により、3月12日から4月30日まで臨時休館となったため、各実績については平成23年5月1日から平成24年3月31日までのものである。

上記地震の影響により、常設展示室では天井や床の大部分、及び大型模型の一部に損傷が生じるなどしたため各部の修繕工事を実施した。この間、資料の安全確保のため、すべての展示資料を収蔵庫に撤収し、工事後再展示を行った。

5月1日からの再開後は、5・6階の常設展示室（8,934㎡）において、定期的な展示替えを計21回行ない、常時約2,000点の資料を展示するとともに、学芸員の研究成果を反映させた企画展や常設展示各コーナーで開催する特集展示を実施した。また、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的に開催した。外部機関と協力した企画展として、「発掘された日本列島 2011」展（文化庁と共催）、「日光東照宮と将軍社参」展（公益財団法人徳川記念財団と共催）を開催した。

また、展示に際しては、資料の温湿度等展示環境の管理保全を行うとともに、震災対策として、覗き型展示ケース40台を更新し、耐震仕様化するとともに、展示室内の設備照明300台分をLED化し省電力化を図った。

[常設展観覧者実績]

| 区分 | 平成23年度(A) | 対前年比(A/B) | 平成22年度(B) |
|----------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 一般 | 288,724人 | 89.0% | 324,120人 |
| 学生 | 23,211人 | 85.0% | 27,304人 |
| 高校生、都外中学生 | 47,487人 | 68.8% | 68,998人 |
| 65歳以上 | 75,116人 | 85.8% | 87,449人 |
| 無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察) | 275,028人 | 98.5% | 279,125人 |
| 合計 | 709,566人 | 90.1% | 786,996人 |
| 1日あたり観覧者数 | 2,413人 | 91.3% | 2,641人 |

※平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う修繕工事により、3月12日から4月30日まで臨時休館となったため、平成23年5月1日から平成24年3月31日までの実績である。

(2) 常設展示リニューアル

開館以来、大きな変更・更新をしていない常設展示について、これまでの問題点や課題、来館者の要望などを踏まえ、全体的なリニューアルを行い、より魅力ある常設展とし、江戸東京の歴史と文化発信の拠点としていくため、平成22年度より東京都が設置する「江戸東京博物館常設展示リニューアル事業検討会」を開催し、実施計画案を作成した。また東京都との協定により、常設展示室中村座内区画及び第2企画展示室において改修工事を実施した。

○ 常設展示リニューアル事業検討会

第3回 平成23年7月20日 「江戸東京博物館リニューアルプランについて」

本会においてリニューアルの基本構想について承認を得た。

○ 「平成23年度 東京都江戸東京博物館 常設展示改修工事の設計及び施工経費に関する協定」に基づく工事

- ・常設展示室 5 階中村座内動線改修に伴う資料改修・移設・レイアウト変更の設計及び施工
 施工期間：平成 23 年 11 月 29 日～平成 24 年 3 月 27 日
 改修概要：「中村座」内出入口開口部の移設／「芝居小屋の構造」模型の移設／「中村座」内「助六の舞台」模型の解体及び移設／「歌舞伎の仕掛け」模型の移設及び駆動部、制御部の改修等
- ・常設展示室 5 階第 2 企画展示室改修工事の設計及び施工
 施工期間：平成24年1月30日～平成24年3月17日
 改修概要：既存ウォールケースの改修／展示準備室側戸扉の改修等

(3) 企画展

「展覧会等企画検討委員会」答申に基づき、東京都江戸東京博物館のミッションに沿った企画展を 6 回実施した。

① 発掘された日本列島 2011

会 期 平成 23 年 6 月 11 日 (土) ～7 月 31 日 (日)
 会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室
 主 催 文化庁 東京都 東京都江戸東京博物館
 内 容 毎年開催している最新の発掘調査の成果を公開する展覧会。近年の発掘調査の中から、特に注目される出土品を中心に紹介するとともに「埋蔵文化財保護」に対する理解を深めた。また、特集として文化庁事業である特別名勝平城宮東院庭園の復元事業を紹介する展示を実施した (出品点数 22 遺跡約 550 点)。
 担 当 阿部由紀洋 (事業企画課展示事業係)

② 市民からのおくりもの 2011－平成 22 年度収集 新収蔵品から－

会 期 平成 23 年 8 月 9 日 (火) ～9 月 25 日 (日)
 会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室
 内 容 東京都江戸東京博物館では、江戸東京の歴史と文化を守り伝えるため、広く市民に寄贈を呼びかけて資料を収集している。寄贈者への感謝を表すると同時に、博物館の収集活動に関心を持ってもらうため、平成 22 年度に収集した 1030 点の資料から 142 件を紹介した。
 担 当 事業企画課資料係 (熊谷紀子、益田茂、田中美穂、行吉正一、西村直子、沓沢博行、岡真理香)

③ 日光東照宮と将軍社参

会 期 平成 23 年 10 月 8 日 (土) ～11 月 23 日 (水・祝)
 会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室
 主 催 東京都 東京都江戸東京博物館 公益財団法人徳川記念財団
 内 容 毎年開催している徳川将軍家に関する展覧会。今回は、徳川家康が祀られる日光東照宮への歴代将軍の参拝に関する事績を取り上げ、江戸時代における日光東照宮の位置づけ、将軍の「日光社参」の規模や旅程、日光到着後の将軍の行動などを明らかにした。
 担 当 柳田直美 (公益財団法人徳川記念財団) 眞下祥幸 (事業企画課展示事業係)

④ 絵で楽しむ忠臣蔵

会 期 平成 23 年 12 月 3 日 (土) ～平成 24 年 1 月 29 日 (日)
 会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室
 主 催 東京都 東京都江戸東京博物館
 内 容 赤穂浪士による仇討事件をもとに創作された浄瑠璃・歌舞伎の演目「仮名手本忠臣蔵」を題材とした錦絵を中心に、その物語の世界、描かれたヒーロー像、着想されたパロディなどについて展覧した。第 2 企画展示室内を分割し、「歴

史の中の龍」展と同時開催とした。

担 当 丸山はるか（事業企画課展示事業係）

⑤ 歴史の中の龍

会 期 平成 23 年 12 月 3 日（土）～平成 24 年 1 月 29 日（日）

会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 平成 24 年の干支である「たつ」にちなみ、龍をかたどった武具や火事装束、工芸品の他、龍について書かれた江戸時代の典籍、錦絵などを展示し、日本人の龍に対するイメージの変遷を紹介した。第 2 企画展示室内を分割し、「絵で楽しむ忠臣蔵」展と同時開催とした。

担 当 橋本由起子（事業企画課展示事業係）

⑥ 芝 増上寺 ～秀忠とお江の寺～

会 期 平成 24 年 3 月 27 日（火）～31 日（土）

*全体の会期は、平成 24 年 3 月 27 日（火）～5 月 27 日（日）

会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 徳川将軍家の菩提寺であり、2 代将軍秀忠の正室となったお江が眠る寺としても知られる増上寺が所蔵する寺宝の数々を一度に公開する展覧会。平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、開催を延期して実施。

担 当 齋藤慎一（事業企画課展示企画係）・橋本由起子（事業企画課展示事業係）

(4) 特集展示

常設展示の各コーナーの魅力をより向上させるために、テーマを絞った特集展示を 4 回実施した。

① 豆富小僧あらわる！

会 期 平成 23 年 5 月 1 日（日）～22 日（日）

*当初 4 月 12 日（火）からの展示の予定であったが震災休館により短縮

会 場 常設展示室 5 階 「出版と情報」コーナー

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 本格 3D アニメ映画「豆富小僧」の公開との連携展示。江戸時代中期の黄表紙に登場し、当時の人々の間に広まった妖怪である「豆腐小僧」にまつわるエピソードを、当館蔵の歴史資料によって紹介した。

担 当 眞下祥幸（事業企画課展示事業係）

② オイレンブルグ伯爵のみた幕末の江戸

会 期 平成 23 年 5 月 1 日（日）～22 日（日）

*当初 3 月 15 日（火）から 5 月 8 日の展示の予定であったが震災休館により短縮

会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室前展示コーナー

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 今日の日独関係の原点となった日普修好通商条約締結 150 年を記念し、ドイツ大使館の協力を得て実施したパネル展。1860 年にプロイセン政府から東アジア諸国に派遣された外交官であるオイレンブルグが、公式画家として随行させたベルクに描かせた風景画をパネル展示し、江戸、横浜を中心とする幕末日本の風景を紹介した。

担 当 田中裕二（管理課事業推進係）

③ 最勝院の至宝

会 期 平成 23 年 10 月 18 日（火）～平成 23 年 11 月 13 日（日）

会 場 常設展示室 6 階 「総城下町江戸」コーナー

- 主 催 東京都 東京都江戸東京博物館
- 内 容 企画展「芝 増上寺 ～秀忠とお江の寺～」の開催延期に伴い、同展に出品予定であった最勝院所蔵の江（崇源院）に関わる寺宝を先行して展示した。
- 担 当 眞下祥幸（事業企画課展示事業係）
- ④ 太陽の塔 黄金の顔
- 会 期 平成 24 年 2 月 21 日（火）～平成 24 年 3 月 31 日（土）
*全体の会期は、平成 24 年 2 月 21 日（火）～5 月 20 日（日）
- 会 場 常設展示室 5 階 日本橋下および東京ゾーン「よみがえる東京」コーナー
- 主 催 東京都 東京都江戸東京博物館
- 内 容 特別展「ザ・タワー ー都市と塔のものがたりー」の関連展示。昭和 45 年の日本万国博覧会（万博）のシンボルとして岡本太郎が制作した「太陽の塔」に設置された、直径 11m の「黄金の顔」のオリジナルを東京で初公開した。あわせて、東京ゾーン「よみがえる東京」のコーナーでは、「世紀の祭典」と謳われた万博と当時の社会情勢を関連資料により展観した。
- 担 当 松井かおる・阿部由紀洋（事業企画課展示事業係）

2 分館（江戸東京たてもの園）

(1) 野外収蔵（分館）

「江戸東京たてもの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。
また四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

〔入園者実績〕

| 区 分 | 平成23年度(A) | 対前年比(A/B) | 平成22年度(B) |
|--------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 一 般 | 83,160人 | 98.9% | 84,124人 |
| 大学生・専門学校生 | 7,789人 | 88.4% | 8,809人 |
| 高校生、都外中学生 | 1,820人 | 81.6% | 2,230人 |
| 65歳以上 | 25,098人 | 108.6% | 23,103人 |
| 無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動等) | 83,387人 | 88.0% | 94,768人 |
| 合 計 | 201,254人 | 94.5% | 213,034人 |
| 1日あたり観覧者数 | 649人 | 93.0% | 698人 |

① 収蔵建造物の復元

- ・万徳旅館・大和屋本店（乾物屋）の演示品収集及び展示施工、復元工事への協力、公開オープニングセレモニー 平成 23 年 9 月 3 日（土）／参加者数 89 人
記念事業

○復活！昭和のかんぶつ屋さん

平成 23 年 9 月 3 日（土）～4 日（日）／2 日間入園者数 1,599 人

○藤森照信氏講演会「建築探偵の成果としての江戸東京たてもの園」

平成 23 年 9 月 18 日（土）／参加者数 155 人

○めがせ！たてもの園クイズ博士 小金井公園クイズラリー

平成 23 年 10 月 8 日（土）～9 日（日）／2 日間参加者数 325 人

○えどまる寄席 林家たい平独演会

平成 23 年 10 月 24 日（月）原宿クエストホール／参加者数 264 人（応募者数 1,673 名）

○旅のお楽しみ 奥多摩・諸国“うまいもの物産市”

平成 23 年 10 月 29 日（土）～30 日（日）／2 日間入園者数 2,222 人

・三島邸（デ・ラランデ邸）の展示実施設計及び演示品調査、復元工事への協力

② 情景再現事業

情景再現事業の一環で、季節ごとの催しとして、春「子どもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、冬「はらっぱ大会」などの各イベントを行った。

・子どもの日イベント

内 容 買い物ゲーム、泥団子づくり、チャンバラ、兜・風車づくりなど、昭和の子供たちの遊びを再現。

期 間 平成 23 年 5 月 4 日（水・祝）・5 日（木・祝）

会 場 園内全体

参加者数 6,663 人（当日来園者）

・小暑のつどい

内 容 折り紙づくりや短冊に願い事を書き込むなどの体験講座と、朝顔、ほおづきの鉢植えの販売や浴衣の展示などで初夏の風情を再現。

期 間 平成 23 年 7 月 2 日（土）・3 日（日）

会 場 園内ビジターセンター前、西ゾーン吉野家など

参加者数 1,958 人（当日来園者）

・下町夕涼み

内 容 盆踊り、寄席、夜店などによる夏の夕涼みの風情を再現。

期 間 平成 23 年 8 月 6 日（土）・7 日（日）

会 場 園内全域

参加者数 9,771 人（当日来園者）

・体験！発見！職人さん

内 容 東京の伝統工芸士を招いて、体験や見学をする。

期 間 平成 23 年 10 月 8 日（土）・9 日（日）

会 場 東ゾーン

参加者数 3,449 人（当日来園者）

・紅葉とたてもののライトアップ

内 容 園内の建造物にやさしい光を当て、夜のたてものの園の魅力を伝える。

期 間 平成 23 年 11 月 25 日（金）・26 日（土）・27 日（日）

会 場 園内全域

参加者数 4,964 名（当日参加者）

・正月飾りづくり

内 容 藁を使った注連縄をつくる体験講座

期 間 平成 23 年 12 月 10 日（土）・11 日（日）

会 場 東ゾーン プレハブ

参加者数 1,424 人（当日参加者）

・正月遊び

内 容 書き初め、双六、福笑いなどの遊びとお囃子など正月ならではの催しを実施。

期 間 平成 24 年 1 月 7 日（土）・8 日（日）

会 場 園内全体

参加者数 3,101 人（当日来園者）

・はらっぱ大会

内 容 ベーゴマ大会、足湯、いろりでの湯茶のサービスを実施。
期 間 平成24年2月11日(土)・12日(日)
会 場 東ゾーン はらっぱ
参加者数 2,650人(当日来園者)

・春先キモノ日和

内 容 「和の装い」をテーマに着物の着付けサービスやふろしき入門講座、着物販売などを行う。
期 間 平成24年3月24日(土)・25日(日)
会 場 園内全体
参加者数 2,457人(当日来園者)

・たてもの園フェスティバル

内 容 開園記念日に、B級グルメの提供やコンサートなどを実施。
期 間 平成24年3月28日(水)
会 場 園内全体
参加者数 4,614人(当日来園者)

・伝統工芸の実演

江戸東京に残る伝統工芸の実演を行った。

内 容 染色古代更紗、江戸指物、表具、桐箆笥、木目込み人形、籐工芸、琴・三味線、江戸凧、東京手描友禅、和人形、和裁、染色補正、真田組紐、型小紋、こぎん刺、とんぼ玉、銀細工、飴細工、木工襖縁
期 間 平成23年4月～平成24年3月のうち24日間
会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

・綱島家年中行事

かつての農家の年中行事を再現。

内 容 梅干しづくり、梅の土用干し、十五夜飾り、十三夜飾り、干し柿、大根干し、小正月・繭玉飾り、節分
期 間 年8回 平成23年4月～24年3月のうち
会 場 江戸東京たてもの園 綱島家

③ 学校連携事業

「昔暮らし体験」「ひじろっ子(子どもボランティア)」「教職員研修」等を実施した。

・昔暮らし体験

園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、昔の道具探しなどを実施した。

参加人数 58校 4,511人

・子どもボランティア「ひじろっ子」

夏休み期間中に、小学生の「小さな社会貢献」として茅葺き民家の掃除、民家の解説、独楽や竹馬などの遊びの指導、小金井公園桜守とともに桜の調査などを行った。

また、イベント時にはボランティアとして園の事業を支援した。

参加人数 65人

・教職員研修

小金井市、国分寺市、小平市、西東京市等の教員に対し、学校連携での活用方法等の研修を行った。

参加人数 87人

④ 子ども居場所作り「武蔵野えどまる団」

文部科学省が推進している「地域子ども教室推進事業」の一環として始まった、“遊び”を軸にし、江戸東京たてもの園のボランティアや近隣のサークル、大学生などの地域諸団体と連携し、〈子どもの居場所〉作りとして下記の活動を行った。

[内 容]

| | | | |
|-------|---------|------|----------------------------|
| 指令 78 | 平成 23 年 | 4 月 | お子さま玩具交換会 |
| 指令 79 | | 5 月 | 風雲えどまる城～王国武芸大会～ |
| 指令 80 | | 6 月 | 開催！えどまるカップ |
| 指令 81 | | 7 月 | 風雲えどまる城～夏の陣～ |
| 指令 82 | | 8 月 | ガンガン THE 盆踊り VI |
| 指令 83 | | 9 月 | 竣工！プラネタリウム！ |
| 指令 84 | | 10 月 | えどまる王国大運動会 |
| 指令 85 | | 11 月 | 開校！忍者大学校！ |
| 指令 86 | | 12 月 | 風雲えどまる城～冬の陣～ |
| 指令 87 | 平成 24 年 | 1 月 | えどまる王国新年祝賀祭 大カルタ大会&小カルタづくり |
| 指令 88 | | 2 月 | えどまるトレジャーハンター・プロジェクト |
| 指令 89 | | 3 月 | 風雲えどまる城ファイナル！！ |

⑤ その他事業

・ミュージアムトーク

毎月 1 回（第 4 土曜日）と特別展開催中に随時実施。

学芸員、研究員による復元建造物や特別展について解説した。

[内 容]

| | | |
|--------------|------------------------|-----------|
| 4 月 23 日（土） | 村上精華堂一看板建築とオーダー | 米山勇（研究員） |
| 5 月 28 日（土） | 吉野家と茅葺き屋根 | 高橋英久（学芸員） |
| 6 月 25 日（土） | 常盤台写真場—都市とモダン | 米山勇（研究員） |
| 6 月 26 日（日） | 特別展「武家屋敷の表と奥」 | 畑尚子（学芸員） |
| 7 月 23 日（土） | 二階建ての歴史について | 早川典子（学芸員） |
| 8 月 27 日（土） | 小寺醤油店について | 米崎清実（学芸員） |
| 9 月 24 日（土） | 屋敷稲荷と稲荷信仰 | 畑尚子（学芸員） |
| 10 月 22 日（土） | 万徳旅館の今昔 | 早川典子（学芸員） |
| 11 月 26 日（土） | 大和屋本店（乾物屋） | 米崎清実（学芸員） |
| 12 月 24 日（土） | 吉野家と綱島家の農と食 | 川上香（学芸員） |
| 1 月 28 日（土） | 大和屋本店（乾物屋） | 高橋英久（学芸員） |
| 1 月 29 日（日） | 特別展「万徳旅館にみる暮らしの 100 年」 | 早川典子（学芸員） |
| 2 月 25 日（土） | 住まいと家族② | 浅川範之（学芸員） |
| 3 月 24 日（土） | 村上精華堂の調査と復元 | 小林克（学芸員） |
| 3 月 25 日（日） | 特別展「万徳旅館にみる暮らしの 100 年」 | 早川典子（学芸員） |

・ビジターセンターの導入展示

小金井公園・たてもの園桜写真展

平成 23 年 4 月 1 日（金）～3 日（日）

（平成 22 年度分会期：3/15（火）～3/31（木））

第 6 回小金井桜今昔写真展

平成 23 年 4 月 4 日（月）～17 日（日）

江戸東京たてもの園の四季絵画展

平成 23 年 4 月 19 日（火）～5 月 8 日（日）
第 9 回小金井公園・たてもの園桜写真展
平成 23 年 5 月 10 日（火）～22 日（日）
第 33 回小金井薪能写真展
平成 23 年 8 月 16 日（火）～21 日（日）
たてもの園ボランティアスケッチ同好会作品展
平成 23 年 10 月 25 日（火）～11 月 12 日（土）
「サクサク写真展 Part1～たてもの園桜写真展上位入選作品展」
平成 24 年 3 月 13 日（火）～3 月 31 日（土）
（平成 24 年度分会期：4/1（日））

・その他

夏休みこども教室 つみきワークショップ／2 日間参加者数 130 人
平成 23 年 8 月 20 日（土）・21 日（日）
けんちく体操ワークショップ／参加者数 28 人
平成 23 年 12 月 11 日（日）
東京大茶会 平成 23 年 10 月 1 日（土）・2 日（日）／入園者数 7,388 人

(2) 展示企画

・特別展

①武蔵御嶽神社高尾山薬王院

平成 23 年 4 月 1 日（金）～4 月 10 日（日）／入園者数 11,890 人
（平成 22 年度分会期：1/15～3/31 ※3/12, 13, 15 臨時休園
全会期入園者数：45,685 人）

内容：武蔵御嶽神社と高尾山薬王院の歴史をふりかえるとともに、
多摩や江戸の人々との関わりなど、御岳山と高尾山の歴史
と魅力を紹介した。

②武家屋敷の表と奥

平成 23 年 4 月 23 日（土）～7 月 10 日（日）／入園者数 45,289 人
内容：将軍の住まいである江戸城から、下級幕臣の住居までを通観
して、表・奥という視点から武家屋敷の構造を分析した。

③武蔵野の歴史と考古学～江戸東京たてもの園収蔵品展～

平成 23 年 7 月 30 日（土）～12 月 25 日（日）を節電のため 10 月
1 日（土）～11 月 27 日（日）に会期変更／入園者数 47,890 人
内容：江戸東京たてもの園が武蔵野郷土館から引き継いだ考古資料
を中心に、武蔵野の歴史をふりかえった。

④万徳旅館にみる暮らしの 100 年

平成 24 年 1 月 17 日（火）～3 月 31 日（土）／入園者数 32,525 人
（平成 24 年度分会期：4/1～8）

内容：万徳旅館関係資料を中心に、この 100 年の暮らしの変遷を
展示する。電気や水道、ガスが無かった時代から、大きく
生活の変化が見られた様子をふりかえった。

II 特別展示

「3T戦略」(Target 対象入館者、Timeliness 時宜、Top of sales point 目玉資料)のもと、時代やジャンルなどバラエティー豊かなラインナップの特別展を開催し、新たな来館者層の開拓を目指した。

また、日頃の調査研究の成果と充実した収蔵品を紹介した特別展では、江戸博の独自性をアピールすることができた。運営面では、関連事業やタイアップ企画の実施、オンラインチケットの販売拡充、協力金方式による収入率アップなど、コスト意識を踏まえて事業を推進した。

平成23年度の特別展入館者数は、延べ253日間の会期に計494,464人の観覧者を迎えることができた。

1 特別展 五百羅漢 増上寺秘蔵の仏画 幕末の絵師 狩野一信

期 間 平成23年4月29日(金・祝)～7月3日(日) 延べ59日間

会 場 1階 企画展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、
大本山増上寺、日本経済新聞社

企画協力 浅野研究所

協 賛 カラーキネティクス・ジャパン、三菱レイヨン、リリカラ

内 容 徳川将軍家ともゆかりが深く、日本有数の大寺院である増上寺。平成23年の法然上人の800年御忌を記念し、同寺院が所蔵する「五百羅漢図」を一挙公開。五百羅漢現出の様子が精細に表現されている本作は、狩野一信の遺作にして畢生の名作とされながら、戦後人びとの目に触れることがなかった。本展では関係資料も展示し、日本美術史上でも極めて重要な意義を持つ「五百羅漢図」の全貌を明らかにした。

観 覧 料 一般1,300円 大学・専門学校生1,040円

小中高校生・65歳以上650円

入場者数 94,696人(1日平均 1,605人)

※平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う修繕工事のため、平成23年3月12日より4月30日まで臨時休館することとなったが、本展は会期を平成23年4月29日(金・祝)～7月3日(日)に変更し、先行開催を行った。

2 特別展 都営交通100周年記念特別展 東京の交通100年博～都電・バス・地下鉄の“いま・むかし”

期 間 平成23年7月14日(木)～9月10日(土) 延べ56日間

会 場 1階 企画展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、
東京都交通局

後 援 国土交通省関東運輸局、東京都教育委員会、東京藝術大学

企画協力 鉄道博物館、鉄道友の会、日本路面電車同好会、株式会社ネコ・パブリッシング

協 力 函館市企業局、京成電鉄株式会社、京王電鉄株式会社、東京急行電鉄株式会社、
京浜急行電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、芝山鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、
東日本旅客鉄道株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社はとバス、社団法人
東京バス協会、財団法人東京都交通局協力会、東京交通会館

内 容 東京都交通局の歴史は、明治44年8月1日に東京市電気局として創業し、路面電車事業と電気供給事業を開始してから平成23年に100周年を迎えた。本展は交通局の100周年を記念して実施されたもので、時代の変化と都民の要望に応じて進化してきた都営交通100年の歴史を、交通局が所蔵する様々な資料(模型、記念乗車券、路線図、看板、整備器具、制服や職員携帯品)を通して振り返るとともに、東京都民の足として果たしてきた役割を検証した。

観覧料 一般1,300円 大学・専門学校生1,040円
小中高校生・65歳以上650円

入場者数 140,624人（1日平均 2,511人）

関連イベント

(1) キッズイベント

内容：「みんなくるマグネット制作」「みんなくる・とあらんうちわ制作」「展覧会新聞を作ろう！」「みんなの乗り物広場」などの企画を同時に展開し、展覧会への関心を高めてもらった。

日時：平成23年7月17日（日）・18日（月・祝）、8月6日（土）・7日（日）・13日（土）・14日（日）・15日（月）・16日（火）

各日とも、11時～17時

対象：未就学児童から小学生

料金：無料

会場：1階 会議室

参加者数：1,395人

(2) ケータイ国盗り合戦「国盗り徳川埋蔵金」

内容：携帯電話を使った、都営交通機関を中心としたスタンプラリー的なゲームを展開し、当館の無料ゾーンと展示エリア内にポイントを設置した。

日時：平成23年7月26日（火）～9月9日（金）

対象：ケータイ国盗り合戦の愛好者

料金：無料（一部ポイントが有料エリア。パケット通信料は参加者負担。）

(3) 夕涼み企画

内容：土曜日の夜間開館時、特別展入場者各日先着80名に、「種付エコうちわ」をはじめとする交通局ノベルティグッズの詰め合わせをプレゼント。

日時：平成23年8月27日（土）・9月3日（土） 各17時～

(4) 着ぐるみの登場

内容：交通局のマスコット「みんなくる」「とあらん」が来館し、子供を中心とする来館者と交流し、展覧会に親しんでもらった。

日時：会期中の週末、お盆期間。

(5) 関連物の展示

内容：展覧会を、より親しみやすくするため、都電のジオラマと、交通局主催の「myつりかわ展」で入選した吊り革の展示。

日時：平成23年7月14日（木）～8月31日（水）

対象：特別展入場者

会場：1階 学習室（展示室と一体化）

3 特別展 世界遺産 ヴェネチア～魅惑の芸術一千年の都～

期間 平成23年9月23日（金）～12月11日（日） 延べ70日間

会場 1階 企画展示室

主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、東映、TBS

後援 外務省、文化庁、イタリア大使館、BS-TBS、TBSラジオ、読売新聞社、J-WAVE

賛 大日本印刷、損保ジャパン

協 力 ヴェネツィア市立美術館群財団、アリタリアーイタリア航空、日本貨物航空、アルテリア、日本通運、JR東日本

| | |
|-------|---|
| 内 容 | ヴェネツィア共和国は697年の共和国成立から1797年のナポレオン侵攻までの約1000年の間に、建国・絶頂・終焉という数奇な運命をたどった都市である。「自由と独立」を貫き、強大な海軍力と交易による富を背景とした水の都は、その美しさから「アドリア海の女王」とたたえられた。本展は、現在でも歴史的な街並みが数多く現存し、世界文化遺産に登録されているヴェネツィアの華やかな歴史と芸術を約140点の作品により紹介した。2011年は日本におけるイタリア年にあたっており、本展はその中核事業ともなった。 |
| 観 覧 料 | 一般1,400円 大学・専門学校生1,120円 小中高生・65歳以上700円 |
| 入場者数 | 152,004人（1日平均 2,171人） |

関連イベント等

- (1) 特別先行上映会 ルキーノ・ヴィスコンティ監督「ベニスに死す」(35mmカラー、131分)
 - 日 時：平成24年9月23日（金・祝） 14時～15時15分
 - 会 場：1階 ホール
 - 参加費：1,000円 参加者数：68名
- (2) トークイベント
 - 出演：辻井いつ子（フリーアナウンサー・エッセイスト、本展テーマ曲を作曲・演奏したピアニスト辻井伸行氏の母）
 - 日 時：平成24年10月11日（火） 14時～15時30分
 - 会 場：1階 ホール
 - 聴講料：1,000円 参加者数：95名
- (3) 記念音楽会（全2回）
 - 内容：ヴェネツィアやイタリアに関わる音楽の演奏会
 - 会場：1階 ホール 参加費：無料 当日申込制 全席自由
 - ①第1回 弦楽四重奏
 - 日時：平成23年10月26日（水） 14時～15時
 - 出演：東京都交響楽団（ヴァイオリン：篠原智子、ヴァイオリン：田中雅子、ヴィオラ：村田恵子、チェロ：森山涼介）
 - 曲目：ヴィヴァルディ ヴァイオリン協奏曲「四季」より、弦楽四重奏で聴くオペラのアリア、他
 - 参加者数：380名
 - ②第2回 チェロとピアノ
 - 日時：平成23年11月19日（土） 14時～15時
 - 出演：チェロ：松岡陽平（東京都交響楽団） ピアノ：吉田千佳子
 - 曲目：モンテヴェルディ：歌曲『あの高慢なまなざし』 他
 - 参加者数：198名
- (4) スタンプラリー「お江戸水散歩」
 - 内容：推奨ルートにあるスタンプ2個と、本展鑑賞券の提示で記念品「世界遺産ヴェネツィア展」オリジナルせんべい（非売品）をプレゼント。
- (5) 記念撮影コーナーの設置
 - 内容：椅子に座ると、あたかもヴェネツィアでゴンドラに乗っているように撮影できるコーナー。

- 4 特別展 NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛
- 期 間 平成24年1月2日（月・休）～2月5日（日） 延べ33日間
- 会 場 1階 企画展示室
- 主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション
- 内 容 本展は平成24年1月から始まった、NHK大河ドラマ「平清盛」と連動し開催した。平安時代の末期、平氏の全盛期を築いた平清盛の一生を資料により紹介。武家社会への転換期を江戸博ならではの展示内容で解説。江戸博ファンの期待に応えた。
- 観 覧 料 一般1,300円 大学・専門学校生1,040円
高生・65歳以上650円
- 入場者数 81,548人（1日平均 2,471人）
- 5 特別展 東京スカイツリー完成記念特別展 ザ・タワー～都市と塔のものがたり～
- 期 間 平成24年2月21日（火）～平成24年3月31日（土） 延べ35日間
*全体の会期は、平成24年2月21日（火）～平成24年5月6日（日）延べ67日間
- 会 場 1階 企画展示室
- 主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション
- 特別後援 東武鉄道株式会社、東武タワースカイツリー株式会社、株式会社日建設計、株式会社大林組
- 後 援 フランス大使館、墨田区、一般社団法人墨田区観光協会
- 協 力 日本科学未来館、全日本タワー協議会、通天閣観光株式会社、日本電波塔株式会社/エールフランス航空、日本航空
- 内 容 平成24年春、墨田区に東京スカイツリーが開業した。本展は開業にあわせ、人はなぜ塔を建てるのか、という視点に立ち、東京・大阪・パリなど近代の都市に登場した塔の歴史を概観した。スカイツリー・薬師寺東塔・通天閣など、話題性の高い塔たちをとりあげるとともに、館蔵の喜多川コレクションの浅草凌雲閣関係資料関係資料など、館蔵品を最大限に活用し、新しいランドマークとなるスカイツリーへの関心を高め、都市史の中における塔について興味を深めてもらい、江戸東京博物館独自の視点による自主企画として、高いクオリティを目指した。
- 観 覧 料 一般1,300円 大学・専門学校生1,040円、小中高生・65歳以上650円
- 入場者数 25,592人（1日平均 731人）
*会期全体では、60,967人（1日平均 910人）

関連イベント

(1) 「えどはくタワーズ」パフォーマンス

えどはくタワーズ（東京タワーくん、通天閣くん、凌雲閣さん、エッフェル塔さん、バベルくん）は、「ザ・タワー展」のPRキャラバン隊として結成され、本展に登場する都市の塔たちをモチーフにしたカブリモノをつけ、オリジナルテーマ曲にのってダンスパフォーマンスを行った。

①東京都江戸東京博物館内

日時：平成24年2月20日（月）、2月21日（火）、2月25日（土）、
2月26日（日）、3月3日（土）、3月4日（日）、3月10日（土）、
3月11日（日）、3月17日（土）、3月18日（日）、3月20日
（火・祝）、3月24日（土）、3月25日（日）、3月31日（土）、
*平成24年度実施 4月1日（日）、4月7日（土）、4月8日（日）、

4月14日(土)、4月15日(日)、4月21日(土)、4月22日(日)、
4月28日(土)、4月29日(日)、4月30日(月・祝)、5月1日(火)、
4月2日(水)、5月3日(木・祝)、5月4日(金・祝)、5月5日(土)、
5月6日(日)

②館外

- 日時：1) 平成23年9月23日(金・祝)
日本科学未来館「メイキング オブ 東京スカイツリー」展に
おける、「えどはくタワーズ」デビュー・キックオフイベント
- 2) 平成23年10月1日(土)、10月2日(日)
墨田区主催「すみだまつり・子どもまつり」でのステージイベン
ト出演・PR活動
- 3) 平成23年10月28日(金)、10月29日(土)
東京文化発信プロジェクト「東京クリエイティブウィーク」の
一環として、江戸東京博物館内でパフォーマンス・PR活動・記者
発表会出演
- 4) 平成23年11月12日(土)、11月13日(日)
杉並区後援「高円寺フェス」でのステージイベント出演・PR活動
- 5) 平成24年1月7日(土)、1月8日(日)
江戸博・お正月イベントでパフォーマンス・PR活動

(2) ワークショップ「タワーを作ろう！」

内容：新聞紙とテープを使って自由な発想でタワーを作るワークショップ。
完成後、そのタワーをかぶり、「えどはくタワーズ」と共に館内を歩き
まわった。

講師：ニシハラ☆ノリオ(カブリモノ-アーティスト)

対象：こどもから大人まで

(小学校3年生以下[未就学児含む]の参加者は、保護者同伴)

参加費：無料

会場：1階 学習室

①第1回 日時：平成24年3月17日(土) 13時30分～16時

参加者数：24名

②第2回 日時：平成24年3月24日(土) 13時30分～16時

参加者数：33名

(3) 全国タワー・マスコットサミット「G13」

「えどはくタワーズ」の呼びかけにより、全日本タワー協議会のマスコット13
組が江戸東京博物館に集まったイベント。

①開幕式

内容：各タワー・マスコットの紹介と「えどはくタワーズ」によるダンスパフ
ォーマンス。

日時：平成24年3月22日(木) 13時30分～14時

会場：1階 ホール 参加費：無料

参加者数：200人

②「13組のタワー・マスコットに会える！」

内容：えどはくタワーズとタワー・マスコット13組(日替わり出演)との
パフォーマンス

日時：平成24年3月24日(土)、3月25日(日)、3月31日(土)、

*平成24年度実施 4月1日(日)

各日とも11時、13時、15時

場所：江戸東京博物館内

③サミット開催を記念して、高校生以下の展覧会来場者に、「えどはく
タワーズ名刺5枚セット」を配布。

実施日：3月24日（土）、3月25日（日）、3月31日（土）、4月1日（日）

6 開館20周年記念特別展準備

平成24年3月8日から11日にかけて中華人民共和国・北京市内の北京故宮博物院及び首都博物館を訪
問し、資料調査を行い、協力体制について検討を行った。

Ⅲ 資料収集

1 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。

平成23年度は、資料収蔵委員会を2回開催し、第1回目（10月27日）では購入資料を中心に、第2
回目（1月31日）では寄贈資料を中心に付議した。

(1) 平成23年度資料収集点数 (単位：点)

| 区分 | 購入 | 寄贈 | その他 | 計 |
|--------|-----|-------|-------|-------|
| 標本資料 | 386 | 2,631 | 21 | 3,038 |
| 図書資料 | 601 | 0 | 4,940 | 5,541 |
| 映像音響資料 | 0 | 433 | 0 | 433 |
| 合計 | 987 | 3,064 | 4,961 | 9,012 |

(2) 主な収集資料（寄贈資料より）

| 分類 | 資料名 |
|------|------------------------------|
| 絵画 | 東京震災画報 |
| 文書類等 | 幕臣井上貫流左衛門家文書 |
| 文書類等 | 川村清雄関係資料 |
| 印刷物 | 池田山今泉邸様御台所設備図 他 |
| 印刷物等 | 大正～昭和前期印刷物・絵葉書 等 |
| 生活民俗 | 菟印帖（スタンプ帖） |
| 生活民俗 | 電力管理法成立記念 電気スタンド |
| 生活民俗 | 煙草販売用店頭ショーケース |
| 動画 | 昭和前期9.5mmフィルム（パターベビー） |
| 静止画 | 東京空撮写真（昭和29～44年）（4×5判 初フィルム） |

2 資料制作

下記の複製資料を製作した。

- (1) 資料名 出光美術館所蔵「江戸名所図屏風」
 点数 八曲一双
 説明 本作品は、常設展示「都市の原型」を構成する上で不可欠であることから、
 年間を通じて複製（印刷版、写真版）を展示している。このうち、写真版は
 経年劣化による褪色が甚だしく、描かれている情報が伝えにくくなったため、
 写真版の複製資料を再製作した。

- (2) 資料名 当館蔵「隅田川風物図巻」
 点数 一卷
 説明 日本橋川から隅田川の流れをひとつながりに描いた絵巻。裏面から光を当てると、花火や提灯等が明るく見えるという趣向を凝らしたもの。本資料は展示頻度が高く、また裏から光を当てる特殊な展示方法をとるため、資料の劣化を促進させる恐れがある。そこで、原資料保護の観点から複製を製作した。

3 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営を図れるよう、資料を購入した。

[主な購入資料]

| 分類 | 資料名 |
|------|-----------------|
| 絵画 | 隅田川浅草図屏風 |
| 絵画 | 雪月花美人図 |
| 絵画 | 東都名所 浅草今戸 |
| 工芸品 | 納戸綸子地紅葉賀模様小袖 |
| 工芸品 | 白麻地花菱立涌牡丹模様鎧下着 |
| 工芸品 | 六尺看板 |
| 工芸品 | 金梨子地軍配に葵紋蒔絵鞍 |
| 文書類 | 江戸大名火消関係文書 |
| 典籍 | 官刻孝義録 |
| 印刷物 | 増補 江戸大絵図 絵入 他 |
| 印刷物 | 力道山ポスター |
| 印刷物 | ポスター「三越呉服店」杉浦非水 |
| 生活民俗 | 郵便行囊（赤行囊・乙） |

IV 資料管理・保全

1 資料管理・保全

(1) 資料の修理

40件（102点）の修理を行った。

[内訳]

| 資料分類 | 件数 | 点数 | 資料分類 | 件数 | 点数 |
|------|----|----|--------|----|----|
| 標本資料 | 31 | 48 | 図書資料 | 2 | 47 |
| 絵画 | 9 | 19 | 図書 | 2 | 47 |
| 工芸品 | 9 | 16 | | | |
| 文書類 | 7 | 7 | | | |
| 典籍 | 4 | 4 | 映像音響資料 | 7 | 7 |
| 生活民俗 | 2 | 2 | 動画 | 7 | 7 |

(2) 資料の収蔵

平成24年3月末日現在、565,141点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

| | |
|--------|----------|
| 標本資料 | 306,525点 |
| 映像音響資料 | 37,961点 |
| 図書資料 | 220,655点 |

(3) 資料の貸出

平成24年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、25件（135点）の資料を貸し出した。

(4) 寄託資料の更新

2件、4,192点の寄託資料の更新を行った。

(5) 資料目録の作成

「東京都江戸東京博物館資料目録 館蔵地図目録2 明治の地図」を1千部作成した。

2 コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業(常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等)への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム(資料情報システム)の管理及び運用を行った。

V 調査・研究

都市歴史研究

(1) 年間特定研究

「観光都市江戸東京 芝地域の歴史と文化」、シンポジウム「芝地域を考える－愛宕山・増上寺・芝神明－」等で成果を発表した。

小澤弘・市川寛明・近松鴻二・石山秀和・高山慶子・田原昇

(2) 共同研究

① 比較都市研究 江戸と大坂（大阪歴史博物館との共同研究）

小澤弘・市川寛明・近松鴻二・石山秀和・高山慶子・田原昇・

② 隅田川流域の歴史と文化

小澤弘・市川寛明・近松鴻二・石山秀和・高山慶子・田原昇

② 狩野享吉文庫の調査と研究（東北大学および附属図書館）

小澤弘・市川寛明・近松鴻二・石山秀和・東北大学・同附属図書館

③ 「町方書上」（国立国会図書館所蔵）のデータベース化（江戸東京博物館友の会）

市川寛明・高山慶子・江戸東京博物館友の会

(3) 基盤研究

① 大伝馬町家主馬込家文書の調査研究（高山慶子）

② 米屋田中家文書の研究（「江戸における通人馬請負業の成立と展開」）（市川寛明）

③ 土屋家文書目録の作成（市川寛明）

④ 「大坂大根屋文書」の調査研究（近松鴻二）

- ⑤ 館蔵幕臣関係資料の研究 (田原昇)
- ⑥ 川村清雄関係資料の調査 (田原昇・落合則子)
- ⑦ 館蔵東京地図資料調査 (近松鴻二)
- ⑧ 館蔵肉筆画の調査と研究 (小澤弘・我妻直美)
- ⑩ 館蔵「文人録・往来物」の研究 (石山秀和)
- ⑪ 館蔵資料「御維新前後必要記憶」の調査・研究 (石山秀和)
- ⑫ 館蔵大伝馬町名主馬込家文書の目録化 (高山慶子)
- ⑬ 江戸町名主の研究 (高山慶子)
- ⑭ 防災都市と復興計画 (米山勇)
- ⑮ 館蔵喜多川コレクションの調査研究 (近松鴻二・行吉正一)

(4) シンポジウムの開催

「芝地域を考える－愛宕山・増上寺・芝神明－」

江戸から東京への時代の移り変わりの中で、芝地域がどのように変容し、また新しい街を形成していったのか、その過程を跡づけ、芝地域を考えるシンポジウムを開催した。

開催日 平成24年2月18日(土)

会場 1階 ホール

参加人数 327人

| | | |
|-----|------------------------------|----------------|
| 内 容 | 芝地域を考える－愛宕山・増上寺・芝神明－ | 石山秀和(専門研究員) |
| | 絵は神明前～芝の絵草紙屋～ | 鈴木俊幸(中央大学) |
| | 芝神明と宮地芝居について | 佐藤かつら(鶴見大学) |
| | 芝愛宕山の移りかわり～J O A K・東京放送局の設立～ | 佐藤紘司(NHK放送博物館) |
| | 芝公園と芝増上寺 | 高山優(港区立港郷土資料館) |
| | パネルディスカッション 報告者+コメンテーター | 市川寛明(学芸員) |
| | | 米山勇(研究員) |

(5) 書籍の編集・刊行

① 『調査報告書』第25集の刊行

江戸の町名主の役割や性格を明らかにしようと、平成23年2月19日(土)に開催された都市歴史研究室シンポジウム「江戸の町名主－町の仕組みと名主の生活－」と、それに先立つ2月17日(木)実施されたシンポジウム関連講座「江戸町名主の明治」における講演をもとに論考をまとめ、刊行した。

名 称 『江戸の町名主』

発行年月日 平成24年3月12日

発行部数 1,200部

構 成

口絵

序言

論文

| | |
|------------------------|------------------------|
| 江戸の町名主－本書の目的と構成－ | 高山慶子(宇都宮大学准教授) |
| 創設期江戸の名主の諸相 | 片倉比佐子(近世史料研究会会員) |
| 名主寄合と町方の合意形成－18世紀を中心に－ | 加藤貴(早稲田大学講師) |
| 近世末期における名主と都市官僚化 | 小林信也(川村学園女子大学講師) |
| 江戸町名主の明治 | 牛込努(租税大学校(租税資料室)研究調査員) |

浅草福富町名主と文人たちー永野又次郎宛書簡よりー

牧野宏子（関東学院大学准教授）

名主の経済事情と金融

高山慶子（宇都宮大学准教授）

平成22年度都市歴史研究室シンポジウム「江戸の町名主」パネルディスカッションの記録

平成22年度都市歴史研究室シンポジウム「江戸の町名主」実施記録および関連事業概要

東京都江戸東京博物館所蔵 江戸の町名主 資料目録

江戸の町名主 研究文献目録

② 『調査報告書』第26集の刊行

当館で収集した「^{きたがわちかし}喜多川周之コレクション」を多くの方に紹介するため、平成22年12月4日（土）に「研究フォーラム 浅草十二階に魅せられた男～喜多川周之コレクションの魅力～」を開催した。そのフォーラムに合わせ同年11月9日（火）より12月26日（日）まで、常設展示室で喜多川周之コレクションの一部を紹介する特集展示を開催した。その二つの成果をまとめ、刊行した。

名 称 『喜多川周之コレクション 第2集』

発行年月日 平成24年3月12日

発行部数 1,000部

構 成

口絵

序言

第1章 東京都江戸東京博物館研究フォーラム「浅草十二階に魅せられた男～喜多川周之コレクションの魅力」

はじめに

1. 喜多川周之コレクションとはなにか 行吉正一（学芸員）
2. 浅草学校の同窓生 喜多川周之氏について 小木曾淑子（下町衆談主催者）
3. 絵はがきの中へー十二階絵はがきから覗く浅草ー 細馬宏通（滋賀県立大学教授）
4. 喜多川周之コレクションの魅力ー民間学者の遺産ー

佐藤健二（東京大学大学院教授）

5. パネルディスカッション（佐藤健二、小木曾淑子、細馬宏通、行吉正一）

第2章 比較都市研究 江戸と大坂（東京都江戸東京博物館・大阪歴史博物館 共同研究）
「浅草十二階と大阪の展望所を持つ施設」

はじめに

1. 喜多川周之コレクションから見た、盛り場浅草の塔「凌雲閣」浅草十二階 行吉正一（学芸員）
2. 大坂における明治20年代の展望所を持つ施設について 船越幹央（大阪歴史博物館学芸員）

3. 共同研究会 質疑応答

第3章 喜多川周之コレクション紹介

はじめに

1. 資料紹介

喜多川周之略年譜

口絵リスト

③ 『紀要』第2号の刊行

江戸東京博物館で行った研究や博物館活動の成果を公表するため、『東京都江戸東京博物館紀要』第2号を刊行した。

名 称 『東京都江戸東京博物館紀要』第2号

発行年月日 平成23年3月12日

発行部数 1,500部

構 成

口絵

調査研究

館蔵「日光東照宮参詣図屏風」について 小澤弘（都市歴史研究室長）

人宿米屋田中家創業期の系譜と石碑建立活動について 市川寛明（学芸員）

当館所蔵の扇風機及び関係史料について 松井かおる（学芸員）

小川一眞印刷・発行による『日露戦没写真帖』『日露戦役軍写真帖』について

岡塚章子（学芸員）

「御維新前後必要記憶」について

石山秀和（専門研究員）

川村清雄氏揮毫油絵展覧会日誌～資料の翻刻と解説～

落合則子（学芸員）

大番頭御預同心の場所替一件に関する資料

田原昇（専門研究員）

大坂商人大根屋文書

近松鴻二（学芸員）

事業報告

企画展「林芙美子と東京放浪」実施報告

橋本由起子（学芸員）

博物館図書室における展示室等との連携に関する一考察～

<ランテーマ・ツアー>内容報告とともに～

栗原智久（司書）

(6) 研究会の開催

調査研究活動の成果を発表するため、研究会を12回開催した。

| 開催日 | テーマ | 発表者 | 参加者数 |
|----------|---------------------------------|--------------------------|------|
| 5月13日(金) | 和暦の西暦表示について | 近松鴻二（学芸員） | 11 |
| 6月10日(金) | 芝地域を考える① | 石山秀和（専門研究員） 行吉正一（学芸員） | 7 |
| 6月17日(金) | 芝地域を考える② | 都市歴史研究室職員 | 8 |
| 8月19日(金) | 『描かれた両国』と『両国』という地域 | 小澤 弘（都市歴史研究室長） | 8 |
| | 調査報告書第21集『両国地域の歴史と文化』の成果と課題について | 市川寛明（学芸員） | 8 |
| | シンポジウム『芝地域の歴史と文化』の問題提起について | 石山秀和（専門研究員） | 8 |

| | | | |
|-----------|--|---------------------|----|
| 10月13日(金) | 平成23年重要文化財指定映画フィルム「小林富次郎葬儀」～創業120周年を迎えたライオン創業者像と映像を通じての100年前の東京について～ | 浅井芳男（ライオン株式会社社史資料室） | 12 |
| | 増上寺三解脱門について | 米山勇（研究員） | 5 |
| 12月9日(金) | 芝地域の特質を考えるための枠組みについて | 石山秀和（専門研究員） | 7 |
| | 芝地域の草紙問屋について | 市川寛明（学芸員） | 5 |
| 3月8日(木) | 近世大坂を襲った地震と津波 | 八木滋（大阪歴史博物館学芸員） | 7 |
| | 安政地震と江戸の社会状況 | 市川寛明（学芸員） | 7 |

2 復元建造物展示調査

- (1) 万徳旅館・大和屋本店（乾物屋）の展示のための調査
- (2) 三島邸（デ・ラランデ邸）の演示品調査

VI 図書室等の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。閉室期間中（平成24年2月14日（火）～19日（日））は、蔵書整理、開架書籍の入替えなどを実施した。

1 図書室利用状況

| | |
|--------------------------|----------|
| 入室者数 | 38,902人 |
| 閉架図書請求数 | 2,015冊 |
| マイクロフィルム請求数 | 503件 |
| 図書複写申請数（モノクロ） | 11,253枚 |
| 図書複写申請数（カラー） | 1,353枚 |
| マイクロフィルム複写申請数 | 5,149枚 |
| レファレンス対応数 | 1,796件 |
| インフォメーション対応数 | 1,208件 |
| WEB-OPAC検索利用数 | 418,126件 |
| ALC検索利用数 | 78,103件 |
| 国立国会図書館レファレンス協同データベース利用数 | 32,025件 |

2 図書室への招待席

図書室が所蔵する図書の魅力を直接伝える講座を開催し、図書室利用者の増進に寄与した。

| 講座名 | 開催日 | 講師 | 参加人数 |
|------------------------------|-----------|----------|------|
| ワンテーマア- 西郷さん大久保さん木戸さん、お家はどこ？ | 10月30日(金) | 栗原智久(司書) | 32 |

3 夏休み子ども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 平成23年7月16日(土)～8月31日(水)

4 図書室内展示

図書室が所蔵する資料から、話題性のあるテーマで特集展示を行った。

| 展示テーマ | 会 期 | 担 当 |
|-------------|-------------------|-----------|
| 描かれた増上寺 | 4月29日(金)～8月30日(火) | 式淳子(司書) |
| 花森安治の装幀 | 9月2日(金)～10月31日(月) | 楯石もも子(司書) |
| 演劇界を彩った忠臣蔵 | 12月3日(土)～1月29日(日) | 井上美奈子(司書) |
| 「コドモノクニ」の時代 | 1月27日(火)～2月29日(水) | 式淳子(司書) |

5 特集図書コーナー

企画展・特別展や時事に合わせて図書の特集コーナーを設置した。

| 特集テーマ | 会期 | 担当 |
|---------------------------|------------------------|-----------|
| 特別展「五百羅漢 増上寺秘蔵の仏画」 | 4月29日(金)～7月3日(日) | 楯石もも子(司書) |
| 特別展「東京の交通100年博」 | 7月14日(木)～9月10日(土) | 楯石もも子(司書) |
| 企画展「発掘された日本列島2011」&地震関係図書 | 6月11日(土)～7月31日(日) | 井上美奈子(司書) |
| 特別展「ヴェネツィア」 | 9月23日(金)～12月11日(日) | 式敦子(司書) |
| 企画展「日光東照宮と將軍社参」 | 10月8日(土)～11月23日(水) | 式敦子(司書) |
| 企画展「忠臣蔵」「歴史のなかの龍」 | 12月3日(土)～2012年1月29日(日) | 井上美奈子(司書) |
| 特別展「平清盛」 | 1月2日(月)～2月5日(日) | 井上美奈子(司書) |

| | | |
|------------------------|------------------|----------|
| 特別展「ザ・タワー～都市と塔のものがたり～」 | 2月21日（火）～5月6日（日） | 栗原智久（司書） |
|------------------------|------------------|----------|

6 職場体験受入

江戸東京博物館で職場体験の受入した中学校のうち、下記期間は図書室において、図書配架、図書出納サービス、図書装備、データ入力等の体験受入をした。

| | |
|---------------|----|
| 平成23年8月25～26日 | 4名 |
| 平成23年9月28日 | 2名 |
| 平成23年11月25日 | 2名 |
| 平成24年1月18日 | 2名 |

VII 教育普及

1 えどはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、合計100講座を開催した。なお、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により延期していた4講座を開催した。

| | |
|-------|--|
| 期 間 | 平成23年5月6日（金）～平成23年3月29日（土） |
| 会 場 | 江戸東京博物館（ホール、会議室、学習室1・2） |
| 受 講 料 | 各講座 一般 1,000円（一部例外あり、セット割引あり） 友の会、ボランティア 800円（同上） |
| 受講者数 | 11,408人 |
| 講 座 数 | 100講座 |

(1) 春期カルチャー 計25講座

※外部講師

| | 講 座 名 | 開催日 | 講 師 | 参加人数 |
|----------|--|-------|-------|------|
| 展覧会関連講座 | 江戸東京たてももの園特別展「武家屋敷の表と奥」①安土城・大坂城・江戸城に見られる表と奥の変遷 | 5月6日 | ※鈴木賢次 | 122 |
| | 江戸東京たてももの園特別展「武家屋敷の表と奥」②尾張藩市谷上屋敷の表と奥 | 5月11日 | ※渋谷葉子 | 105 |
| | 江戸東京たてももの園特別展「武家屋敷の表と奥」③「武家屋敷の表と奥」展のみどころ | 5月12日 | 畑尚子 | 96 |
| 江戸と東京を学ぶ | 詩の東京 現代詩がとらえた東京の姿* | 5月18日 | 行吉正一 | 21 |
| | 連続講座 浮世絵と江戸文化1 ①浮世と浮世絵（菱川師宣） | 5月19日 | 小澤弘 | 126 |
| | 永井荷風を読む①「日和下駄」の世界 | 5月25日 | 湯川説子 | 49 |
| | 連続講座 江戸の植林史③村方による植林の試み* | 5月26日 | 田原昇 | 71 |
| | 都市の変容と文化の成熟1 ①江戸と上方 | 6月1日 | 竹内誠 | 211 |

| | | | | |
|-------|----------------------------------|-------|------|-----|
| | 連続講座 都市江戸東京と山林①内国勸業博覧会にみる江戸東京と林業 | 6月2日 | 田原昇 | 87 |
| | 江戸東京歴史入門5「征夷大將軍」①征夷大將軍と歴代就任者 | 6月3日 | 近松鴻二 | 240 |
| | 連続講座 浮世絵と江戸文化1②江戸歌舞伎と絵看板(鳥居清信) | 6月16日 | 小澤弘 | 128 |
| | 連続講座 江戸東京の絵師4②岡倉天心と横山大観* | 6月23日 | 小澤弘 | 97 |
| | 江戸の生業①深川の魚商人 | 6月24日 | 高山慶子 | 195 |
| | 都市の変容と文化の成熟1②文化の東漸 | 6月29日 | 小澤弘 | 179 |
| | 連続講座 都市江戸東京と山林②江戸幕府の山林政策 | 7月7日 | 田原昇 | 86 |
| | 江戸東京歴史入門5「征夷大將軍」②徳川将軍家その1 | 7月8日 | 近松鴻二 | 254 |
| | 連続講座 浮世絵と江戸文化2③版画技法と工夫(奥村政信) | 7月14日 | 小澤弘 | 119 |
| | 江戸東京歴史入門5「征夷大將軍」③徳川将軍家その2 | 7月29日 | 近松鴻二 | 228 |
| | 連続講座 都市江戸東京と山林③江戸幕府の御材木蔵 | 8月4日 | 田原昇 | 80 |
| | 江戸の生業②本所の薪炭商人 | 8月5日 | 高山慶子 | 179 |
| 古文書講座 | 江戸の古文書を読む(初級・初級応用)① | 5月13日 | 高山慶子 | 75 |
| | 江戸の古文書を読む(初級・初級応用)② | 5月20日 | 高山慶子 | 74 |
| | 江戸の古文書を読む(初級・初級応用)③ | 5月27日 | 高山慶子 | 70 |
| | 江戸の古文書を読む(初級・初級応用)④ | 6月10日 | 高山慶子 | 70 |
| | 江戸の古文書を読む(初級・初級応用)⑤ | 6月17日 | 高山慶子 | 67 |

(2) 夏期カルチャー 計 19 講座

※外部講師

| | 講 座 名 | 開催日 | 講 師 | 参加人数 |
|----------|--|--------|--------------|------|
| 江戸と東京を学ぶ | 連続講座 江戸の文人たち―「人名録」の世界―①江戸の文人と「人名録」 | 7月28日 | 石山秀和 | 138 |
| | 都市の変容と文化の成熟 2 ①江戸の出版業 | 8月3日 | 石山秀和 | 207 |
| | 絵から読む解く江戸の子ども | 8月12日 | 石山秀和 | 109 |
| | 浮世絵で夏を楽しむ | 8月18日 | 小澤弘・ 小山周子 | 57 |
| | 連続講座 江戸の文人たち―「人名録」の世界―②多種多様な「人名録」 | 8月25日 | 石山秀和 | 121 |
| | 都市の変容と文化の成熟 2 ②江戸の文化サロン | 8月31日 | 小澤弘 | 203 |
| | 連続講座 浮世絵と江戸文化 2 ①狂歌と絵暦と錦絵 (巨川・春信) | 9月8日 | 小澤弘 | 138 |
| | 連続講座 江戸の文人たち―「人名録」の世界―③明治の「人名録」―江戸から東京へ― | 9月15日 | 石山秀和 | 112 |
| | 連続講座 浮世絵と江戸文化 2 ②版元と出版取締令 (蔦重・歌麿) | 10月20日 | 小澤弘 | 134 |
| ワークショップ | 和綴じ本を作ってみよう！(午前) | 8月11日 | 楯石もも子 | 31 |
| | 和綴じ本を作ってみよう！(午後) | 8月11日 | 楯石もも子 | 29 |
| | 和楽器にふれてみよう！水道管尺八 | 8月24日 | ※田嶋謙一 | 21 |
| | 落語家駿菊師匠に弟子入り体験ちりとてちん！ | 8月26日 | ※古今亭駿菊 | 23 |
| 古文書講座 | 古文書解読の基礎①寺子屋の教科書「実語教」を読む | 9月6日 | 近松鴻二 | 56 |
| | 古文書解読の基礎②古文書の基礎知識① | 9月13日 | 近松鴻二 | 53 |
| | 古文書解読の基礎③古文書の基礎知識② | 9月20日 | 近松鴻二 | 56 |
| | 古文書解読の基礎④幕府の日記「柳営日次記」を読む | 9月27日 | 近松鴻二 | 54 |
| | 古文書解読の基礎⑤人名を読む | 10月4日 | 近松鴻二 | 54 |

| | | | |
|----------------|--------|------|----|
| 古文書解読の基礎⑥瓦版を読む | 10月18日 | 近松鴻二 | 47 |
|----------------|--------|------|----|

(3) 秋期カルチャー 計 24 講座

※外部講師

| | 講座名 | 開催日 | 講師 | 参加人数 |
|--------------|--------------------------------------|--------|-----------|------|
| 展覧会関連講座 | 企画展「日光東照宮と将軍社参」①企画展「日光東照宮と将軍社参」のみどころ | 10月14日 | 眞下祥幸 | 165 |
| | 世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術-千年の都 | 10月6日 | ※京谷啓徳 | 81 |
| | 企画展「日光東照宮と将軍社参」②日光社参と江戸時代のころ | 10月21日 | ※徳川恒孝 | 194 |
| | 企画展「日光東照宮と将軍社参」③徳川将軍の「家」と日光社参 | 10月28日 | ※山澤学 | 194 |
| | 企画展「日光東照宮と将軍社参」④徳川将軍の絵師・狩野探幽と日光山 | 11月4日 | ※松島仁 | 153 |
| 江戸と東京を学ぶ | 都市の変容と文化の成熟 3①文化の大衆化と文人稼業 | 10月5日 | 市川寛明 | 125 |
| | 徳川幕府の史料を読む! ①「徳川実記」を読む! | 10月27日 | 田原昇 | 118 |
| | 江戸東京の町とたてもの 5①関東大震災と耐震構造 | 10月29日 | 米山勇 | 73 |
| | 多摩文学歴史散歩 療養所の町と文学 (講座) | 11月1日 | 行吉正一・田中実穂 | 15 |
| | 都市の変容と文化の成熟 3②幕末豪商の文化活動 | 11月2日 | ※滝口正哉 | 139 |
| | 多摩文学歴史散歩 療養所の町と文学 (散歩) | 11月8日 | 行吉正一・田中実穂 | 15 |
| | 連続講座 浮世絵と江戸文化 3①版本と挿絵 (絵本・黄表紙・絵手本) | 11月10日 | 小澤弘 | 127 |
| | 江戸東京歴史入門 6 江戸時代の制度①石高制 | 11月11日 | 近松鴻二 | 223 |
| | 徳川幕府の史料を読む! ②「寛政重修諸家譜」を読む! | 11月17日 | 田原昇 | 112 |
| | 江戸城大奥①「江」とその時代 | 11月18日 | 畑尚子 | 186 |
| 江戸城大奥②吉宗期の大奥 | 11月25日 | 畑尚子 | 194 | |

| | | | | |
|-------|-----------------------------------|--------|------|-----|
| | 連続講座 浮世絵と江戸文化 3②芝居と役者絵 (春章・写楽・豊国) | 12月1日 | 小澤弘 | 128 |
| | 江戸東京歴史入門 6 江戸時代の制度②通貨制度 | 12月2日 | 近松鴻二 | 236 |
| | 都市の変容と文化の成熟 3③近世建築の展開 | 12月7日 | 米山勇 | 165 |
| | 徳川幕府の史料を読む! ③「御府内備考」を読む! | 12月8日 | 田原昇 | 105 |
| | 江戸東京の町とたてもの 5②復興のまちなみ | 12月24日 | 米山勇 | 86 |
| 古文書講座 | 古文書を初めて読んでみる | 10月12日 | 石山秀和 | 57 |
| | 古文書を初めて読んでみる | 10月19日 | 石山秀和 | 57 |
| | 古文書を初めて読んでみる | 10月26日 | 石山秀和 | 54 |

(4) 新春期カルチャー 計 32 講座

※外部講師

| | 講座名 | 開催日 | 講師 | 参加人数 |
|--|--|-------|-------|------|
| 連講座 展覧会 開 | 特別展「平清盛」 清盛がめざしたもの | 1月26日 | ※高橋昌明 | 312 |
| 江戸と東京を学ぶ | 浮世絵と江戸文化 4 ①遊女と評判美人(長春・春信・歌麿・豊春) (午前) | 1月19日 | 小澤弘 | 66 |
| | 浮世絵と江戸文化 4 ①遊女と評判美人(長春・春信・歌麿・豊春) (午後) | 1月19日 | 小澤弘 | 107 |
| | 都市の変容と文化の成熟 4 ①モースの見た東京—日本コレクションの形成とその方法—1 | 1月25日 | 小林淳一 | 113 |
| | 江戸東京歴史入門 7 江戸のくらし ①江戸の「エコロジー」 | 1月27日 | 近松鴻二 | 219 |
| | 八百屋町いきなりくり ①下り物と地廻り物 | 2月1日 | ※北原 進 | 188 |
| | 八百屋町いきなりくり ②江戸っ子の水道自慢 | 2月8日 | ※北原 進 | 186 |
| | 芥川龍之介と両国①芥川龍之介文学の揺籃 (ゆりかご) としての両国—芥川の怪奇文学— | 2月9日 | 行吉正一 | 65 |
| 都市の変容と文化の成熟 4 ②モースの見た東京—日本コレクションの形成とその方法—2 | 2月15日 | 小林淳一 | 107 | |

| | | | | |
|-----------|--|-------|--------|-----|
| | 芥川龍之介と両国 ②芥川龍之介「開化の良人」に描かれた両国—大川の赤い月— | 2月16日 | ※神田由美子 | 66 |
| | 安政地震と江戸の社会-被害・情報・復興-①幕末の江戸を襲った巨大地震-運命の安政 2年10月2日 | 2月22日 | 市川寛明 | 224 |
| | 芥川龍之介と両国 ③小説の舞台としての両国—芥川作品の怪奇から狂気へ— | 2月23日 | ※寫田明子 | 76 |
| | 江戸東京の町とたてもの6 ①様式(スタイル)の花園 | 2月25日 | 米山勇 | 86 |
| | 安政地震と江戸の社会-被害・情報・復興 ②鯰絵の世界 | 2月29日 | 市川寛明 | 183 |
| | 浮世絵と江戸文化4② 江戸の四季と名所(師宣・北斎・広重) (午前) | 3月1日 | 小澤弘 | 53 |
| | 浮世絵と江戸文化4② 江戸の四季と名所(師宣・北斎・広重) (午後) | 3月1日 | 小澤弘 | 114 |
| | 江戸東京歴史入門7 江戸の暮らし ②武士の収入 | 3月2日 | 近松鴻二 | 245 |
| | 安政地震と江戸の社会-被害・情報・復興-③町の復興と「名所江戸百景」 | 3月14日 | 小澤 弘 | 214 |
| | 芥川龍之介と両国 ④自画像の背景としての両国—記憶の現場— | 3月15日 | ※安藤公美 | 70 |
| | 明治文学歳時記(春の巻)* | 3月16日 | 湯川 説子 | 43 |
| | 詩の東京 「浅草をうたった詩を読む」 | 3月21日 | 行吉正一 | 25 |
| | 芥川龍之介と両国 ⑤関東大震災—芥川龍之介と東京・両国 | 3月22日 | ※五島慶一 | 69 |
| | 江戸東京の町とたてもの6 ②戦争と建築・都市 | 3月24日 | 米山勇 | 86 |
| | 開館記念特別講座 私の江戸東京論 | 3月28日 | 竹内誠 | 302 |
| | 浮世絵と江戸文化4 ③浮世絵と印象派(北斎・広重・モネ・ゴッホ) (午前) | 3月29日 | 小澤弘 | 54 |
| | 浮世絵と江戸文化4 ③浮世絵と印象派(北斎・広重・モネ・ゴッホ) (午後) | 3月29日 | 小澤弘 | 108 |
| たてもの園セミナー | たてもの園セミナー「地震と建物—地震に備える—」①「江戸東京たてもの園の耐震補強」 | 1月21日 | ※大平茂男 | 16 |
| | たてもの園セミナー「地震と建物—地震に備える—」②「免震化工事で建物の歴史を解明する」 | 1月21日 | ※中村琢巳 | 18 |
| | たてもの園セミナー「地震と建物—地震に備える—」③「価値ある建物を免震化工事で守る～祐天寺・妙法寺な | 1月21日 | ※青木照幸 | 27 |

| | | | | |
|-------|-----------|-------|-----|----|
| | どを例として～」 | | | |
| 古文書講座 | 初めての古文書 ① | 2月3日 | 田原昇 | 99 |
| | 初めての古文書 ② | 2月10日 | 田原昇 | 97 |
| | 初めての古文書 ③ | 2月17日 | 田原昇 | 96 |

* 平成 22 年度実施予定だったものだが、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響により平成 23 年度に延期

3 伝統芸能フォーラム

伝統芸術の発展と継承を目指し、多くの都民が伝統芸能に親しむ機会を提供するため、江戸糸あやつり人形の公演と、特別展「ザ・タワー」展と連携したコンサートを実施した。

(1) 江戸糸あやつり人形 結城座古典公演

期 日 平成23年1月14日（土）・15日（日）
 会 場 江戸東京博物館 1階ホール
 主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
 制 作 公益財団法人江戸糸あやつり人形 結城座
 内 容
 1. 人形の解説（体験コーナー有り）
 2. 三番叟
 3. 人情話文七元結 全四場
 三遊亭圓朝／作 九代目結城孫三郎／改訂
 出演：十二代目結城孫三郎、結城千恵、他結城座人形遣い
 受 講 料 一般 3,500円 18歳以下 2,000円
 参加者数 401名

(2) アンサンブル室町公演 塔にみる夢、未来に捧げる祈り

期 日 平成24年3月11日（日）
 会 場 江戸東京博物館 1階ホール
 主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
 企画・制作 アンサンブル室町
 後 援 公益財団法人セゾン文化財団
 協 力 五味和楽器店
 内 容

第一部 「塔」

ジャン・コクトーのバレエ演劇作品「エッフエル塔の花嫁花婿」を、山下恵『夢遊び Les Pieces d'un Reve』（2008年）と酒井健治の新作をあらたに楽曲とし、オリジナルのアレンジ、演出によって上演。酒井健治の作品は、特にこの公演のために、「塔」をテーマに作曲されたものであり、世界初演。

芸術監督：ローラン・テシュネ

演奏：アンサンブル室町

指揮：鷹羽弘晃

演出：石井さち子 振付：山本裕

出演：河内大和、野口卓磨、長尾純子、秋草瑠衣子、船木こころ、池川恭平、高橋純一、山本裕

第二部 「元素」

フランスバロックの作曲家ジャン＝フェリ・ルベルが1737年に作曲したバレエ音楽「元素」をもとに、古代ギリシャの哲学者エンペドクレスやプラトンのいう「四大元素」、即ち地、水、火、気をテーマとした新曲の委嘱をアンサンブル室町より受けた権代敦彦の作品。

演奏：アンサンブル室町

指揮：鷹羽弘晃

ダンス監修：伊藤キム

演出・振付：井上大輔、

出演：斎藤説成（声明）、入手杏奈、辻田暁、山下彩子、井上大輔

入場料 3,500円

参加者数 184名

4 国際交流事業

平成14年度から、東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル市歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物院（平成18年度より参加）の4館で輪番制とし、シンポジウムを巡回開催。首都における歴史博物館の交流の一環として毎年国際シンポジウムを開催している。平成23年度は当館が主催館となり、「都市博物館における教育普及の取り組み」をテーマに、各館の現状を報告し、博物館で楽しく学ぶための方法を話しあった。

名称 都市博物館で楽しく学ぶ 日中韓博物館事情

期間 平成23年11月16日（水）10時30分～17時

会場 1階 ホール

主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、東京新聞

後援 財団法人日本博物館協会、日本展示学会、日本ミュージアム・マネジメント学会

内容 ①報告 《博物館の現状と課題》

東京都江戸東京博物館 事業企画課長 江里口友子

ソウル歴史博物館 館長 康泓彬

北京首都博物館 副館長 齊密曇

瀋陽故宮博物院 副院長 研究館員 楊小東

②報告 《教育普及の取り組み》

東京都江戸東京博物館 展示事業係長 新田太郎

ソウル歴史博物館 教育広報課長 鄭明兒

北京首都博物館 開放部副主任 何萌

瀋陽故宮博物院 部門主任 副研究館員 韓春艷

③パネルディスカッション 《都市博物館で楽しく学ぶ》

司会：東京都江戸東京博物館 展示企画係長 湯川説子

パネラー：②の報告者4人

参加費 無料

参加者数 220名

5 えどはく寄席

日 時 毎週土・日曜日、祝日の11時30分～12時、13時30分～14時
 客 数 66,930人（うち「秋の伝統芸能ウィーク」9,744人、「正月の催し」9,272人）
 内 容 伝統芸能の継承・普及を目的に、常設展示室5階中村座前で、落語、漫才、紙切り、かつぼれ、太神楽、邦楽などを実演した。また今年度は、11月と12月の平日に学校団体の児童・生徒へ向けた「秋の伝統芸能ウィーク」を実施し、事業の充実を図り、正月には箏曲演奏、宝船などの売り声、落語など正月らしい催事や公式マスコットキャラクター「ギボちゃん」との記念撮影、特別展「ザ・タワー～都市と塔のものがたり」展のPRキャラバン隊「えどはくタワーズ」によるパフォーマンスや企画展にちなんだクイズなどを実施した。さらに、江戸時代や明治大正期の人々の姿に扮したパフォーマーが展示室内を歩く「江戸博ぶらぶらプロジェクト」を3回にわたり実施した。

[実績一覧] 日付の前、無印は通常のえどはく寄席、★印は正月の催し、☆印は伝統芸能ウィークを各々表す。なおぶらぶらプロジェクトについては、常設展示室内全域で行われるパフォーマンスのため、以下の一覧には含まない。詳細は表下の※参照

| 日付 | 演目 | 出演者 | 観客数 |
|-----------|-----------------|-------------|-----|
| 5月1日(日) | 邦楽（津軽三味線・和太鼓） | 白田路明・橋口隆之 | 610 |
| 5月2日(月) | 落語 | 桂 歌助 | 330 |
| 5月3日(火・祝) | 落語 | 山遊亭金太郎 | 700 |
| 5月4日(水・祝) | 落語 | 春風亭柳好 | 780 |
| 5月5日(木・祝) | 落語 | 三遊亭遊吉 | 511 |
| 5月7日(土) | 落語 | 三遊亭春馬 | 318 |
| 5月7日(土) | 江戸芸かつぼれ | 櫻川ピン助社中 | 208 |
| 5月8日(日) | 落語 | 三遊亭圓馬 | 321 |
| 5月14日(土) | パフォーマンス | シオリン | 309 |
| 5月15日(日) | パフォーマンス | かつちゃん | 323 |
| 5月21日(土) | 奇術 | 有紀 天香 | 288 |
| 5月22日(日) | 太神楽 | 菊仙 | 315 |
| 5月28日(土) | 邦楽（箏 生田流・箏 山田流） | 伊藤江里菜・小田切晶子 | 221 |
| 5月29日(日) | 邦楽（尺八・三味線） | 菊地良則・山中裕史 | 291 |
| 6月4日(土) | 邦楽（尺八） | 田嶋謙一・大河内淳矢 | 115 |
| 6月5日(日) | 邦楽（琵琶） | 川嶋信子 | 220 |
| 6月11日(土) | 落語 | 三遊亭遊馬 | 361 |
| 6月11日(土) | 江戸芸かつぼれ | 櫻川ピン助社中 | 228 |
| 6月12日(日) | 落語 | 三笑亭夢花 | 347 |
| 6月18日(土) | 歌謡&トーク | タブレット純 | 217 |
| 6月19日(日) | 動物ものまね | 江戸家 まねき猫 | 368 |
| 6月25日(土) | 曲芸 | 太平洋 | 392 |
| 6月26日(日) | ボードビル | やまけいじ | 332 |
| 7月2日(土) | 邦楽（和太鼓・津軽三味線） | 橋口隆之・白田道明 | 302 |
| 7月3日(日) | 邦楽（箏） | 吉崎明日香・藤木久実 | 279 |
| 7月9日(土) | 落語 | 立川談幸 | 309 |
| 7月9日(土) | 江戸芸かつぼれ | 櫻川ピン助社中 | 278 |

| | | | |
|-------------|----------------|-------------|-----|
| 7月10日(日) | 落語 | 桂小文治 | 305 |
| 7月16日(土) | 昔話 | 横山貴央 | 217 |
| 7月17日(日) | 肩掛け人形芝居 | くすのき燕 | 512 |
| 7月18日(月・祝) | パフォーマンス | あらい汎 | 317 |
| 7月23日(土) | 歌&トーク | 川田恋 | 234 |
| 7月24日(日) | 漫画漫談 | マンガ太郎 | 300 |
| 7月30日(土) | 邦楽 (和太鼓・津軽三味線) | 橋口隆之・白田道明 | 569 |
| 7月31日(日) | 邦楽 (箏) | 柿木原こう・佐野美和 | 319 |
| 8月6日(土) | 邦楽 (尺八・三味線) | 菊地良則・山中裕史 | 235 |
| 8月7日(日) | 邦楽 (箏 生田流・山田流) | 柿木原こう・佐野美和 | 248 |
| 8月11日(木) | 邦楽 (箏 生田流・山田流) | 伊藤江里菜・小田切晶子 | 184 |
| 8月12日(金) | 邦楽 (箏 生田流・山田流) | 伊藤江里菜・小田切晶子 | 196 |
| 8月13日(土) | 落語 | 柳家蝠丸 | 355 |
| 8月13日(土) | 江戸芸かっぱれ | 櫻川ピン助社中 | 312 |
| 8月14日(日) | 落語 | 柳家蝠丸 | 415 |
| 8月15日(月) | 講談 | 神田陽司 | 397 |
| 8月27日(土) | 腹話術 | ポンちゃん人形 | 238 |
| 8月28日(日) | 漫談 | 玉川平太郎 | 305 |
| 9月3日(土) | 邦楽 (尺八) | 田嶋謙一・大河内淳矢 | 223 |
| 9月4日(日) | 邦楽 (尺八) | 田嶋謙一・大河内淳矢 | 283 |
| 9月10日(土) | 落語 | 桂米福 | 291 |
| 9月10日(土) | 江戸芸かっぱれ | 櫻川ピン助社中 | 258 |
| 9月11日(日) | 落語 | 三遊亭遊之介 | 317 |
| 9月17日(土) | クラウンショー | トッチ | 223 |
| 9月18日(日) | 人形劇 | いとうしろう | 312 |
| 9月19日(月・祝) | クラウンショー | あらい汎 | 294 |
| 9月23日(金・祝) | 漫才 | 334 | 181 |
| 9月24日(土) | コント | くれない組 | 196 |
| 9月25日(日) | マジック | 西ゆかり | 217 |
| 10月1日(土) | 邦楽 (津軽三味線・尺八) | 白田路明・中村仁樹 | 740 |
| 10月2日(日) | 邦楽 (津軽三味線・尺八) | 白田路明・中村仁樹 | 537 |
| 10月8日(土) | 落語 | 春風亭柳之助 | 408 |
| 10月8日(土) | 江戸芸かっぱれ | 櫻川ピン助社中 | 291 |
| 10月9日(日) | 落語 | 三遊亭遊史郎 | 431 |
| 10月10日(月・祝) | 落語 | 春風亭柳太郎 | 465 |
| 10月15日(土) | コント | びーランチ | 403 |
| 10月16日(日) | 玉すだれ | 橘家竹蔵 | 441 |
| 10月22日(土) | 奇術 | 元はじめ | 472 |
| 10月23日(日) | 太神楽 | 翁家和助 | 430 |
| 10月29日(土) | 邦楽 (箏曲) | 吉崎明日香・藤木久実 | 342 |
| 10月30日(土) | 邦楽 (箏曲) | 伊藤江里菜・小田切昌子 | 352 |
| 11月3日(木・祝) | 邦楽 (尺八・三味線) | 菊池良則・山中裕史 | 347 |
| 11月5日(土) | 邦楽 (箏 生田流・山田流) | 柿木原こう・石川浩美 | 371 |

| | | | |
|-------------|------------------|--------------------|-----|
| 11月6日(日) | 邦楽(箏 生田流・山田流) | 柿木原こう・石川浩美 | 314 |
| ☆11月8日(火) | 邦楽(尺八) | 田嶋謙一・大河内淳矢・川村葵山 | 471 |
| ☆11月9日(水) | 邦楽(尺八) | 田嶋謙一・大河内淳矢・川村葵山 | 438 |
| ☆11月10日(木) | 邦楽(尺八) | 田嶋謙一・大河内淳矢・川村葵山 | 789 |
| ☆11月11日(金) | 邦楽(和太鼓) | 金刺凌大・金刺由大・橋口隆之 | 874 |
| 11月12日(土) | 落語 | 三遊亭右左喜 | 479 |
| 11月12日(土) | 江戸芸かっぱれ | 櫻川ピン助社中 | 356 |
| 11月13日(日) | 落語 | 三遊亭とん馬 | 506 |
| ☆11月15日(火) | 落語 | 立川談幸 | 411 |
| ☆11月16日(水) | 落語 | 立川談幸 | 539 |
| ☆11月17日(木) | 落語 | 桂伸治 | 534 |
| ☆11月18日(金) | 落語 | 桂歌助 | 531 |
| 11月19日(土) | アクロバット・パフォーマンス | サブリミット | 655 |
| 11月20日(日) | クラウンショー | トッチ | 583 |
| 11月23日(水・祝) | マジックショー | モンブラン | 505 |
| 11月26日(土) | マジック | Kassy | 436 |
| 11月27日(日) | 曲芸 | 太平洋 | 612 |
| ☆11月29日(火) | 邦楽(和太鼓・尺八・津軽三味線) | Ajo・橋口隆之・中村仁樹・白田路明 | 684 |
| ☆11月30日(水) | 邦楽(和太鼓・尺八・津軽三味線) | Ajo・橋口隆之・中村仁樹・白田路明 | 675 |
| ☆12月1日(水) | 邦楽(和太鼓・尺八・津軽三味線) | Ajo・橋口隆之・中村仁樹・白田路明 | 642 |
| ☆12月2日(金) | 邦楽(和太鼓) | 金刺凌大・金刺由大・橋口隆之 | 646 |
| 12月3日(土) | 邦楽(津軽三味線・尺八) | 白田路明・田嶋謙一 | 468 |
| 12月4日(日) | 邦楽(津軽三味線・尺八) | 白田路明・田嶋謙一 | 525 |
| ☆12月6日(火) | 落語 | 立川談幸 | 805 |
| ☆12月7日(水) | 落語 | 山遊亭金太郎 | 598 |
| ☆12月8日(木) | 落語 | 桂伸治 | 682 |
| ☆12月9日(金) | 落語 | 桂小文治 | 425 |
| 12月10日(土) | 落語 | 三遊亭圓丸 | 312 |
| 12月10日(土) | 落語 | 立川談幸 | 308 |
| 12月10日(土) | 江戸芸かっぱれ | 櫻川ピン助社中 | 312 |
| 12月11日(日) | 落語 | 柳亭楽輔 | 332 |
| 12月11日(日) | 落語 | 立川談幸 | 307 |
| 12月17日(土) | マジック | ダーク史郎 | 344 |
| 12月18日(日) | 曲独楽 | やなぎ南玉 | 408 |
| 12月23日(金・祝) | 太神楽 | 菊仙 | 518 |

| | | | |
|------------|--------------|---------------------------|-----|
| 12月24日(土) | コント | くれない組 | 475 |
| 12月25日(日) | マジック | ナッツ淳 | 421 |
| ★1月2日(月) | 落語 | 三遊亭円丈 | 869 |
| ★1月2日(月) | 江戸売り声 | 宮田章司 | 724 |
| ★1月2日(月) | 邦楽(箏) | 吉崎明日佳・谷富愛美 | 471 |
| ★1月3日(火) | 落語 | 五街道雲助 | 840 |
| ★1月3日(火) | 邦楽(箏) | 伊藤江里菜・山形光 | 609 |
| ★1月4日(水) | 落語 | 柳家権太楼 | 697 |
| ★1月4日(水) | 邦楽(箏) | 伊藤江里菜・山形光 | 553 |
| ★1月7日(土) | 曲独楽 | やなぎ南玉 | 441 |
| ★1月7日(土) | 落語 | 三遊亭好楽(第一部)・ 三遊亭鳳楽(第二部) | 472 |
| ★1月7日(土) | 邦楽(箏・尺八) | 柿木原こう・辻本好美 | 172 |
| ★1月8日(日) | 紙切り | 林家今丸 | 665 |
| ★1月8日(日) | 落語 | 古今亭菊之丞 | 492 |
| ★1月8日(日) | 邦楽(箏・尺八) | 柿木原こう・辻本好美 | 522 |
| ★1月9日(月・祝) | 太神楽 | 鏡味正二郎 | 628 |
| ★1月9日(月・祝) | 落語 | 三笑亭夢丸 | 510 |
| ★1月9日(月・祝) | 邦楽(箏) | 吉崎明日佳・谷富愛美 | 607 |
| 1月14日(土) | クラウンショー | シオリン | 492 |
| 1月14日(土) | 江戸芸かっぽれ | 櫻川ピン助社中 | 856 |
| 1月15日(日) | サロンコンサート | 小林玄人ほか | 356 |
| 1月21日(土) | マジック | 荒木巴 | 635 |
| 1月22日(日) | 道化コメディ | プッチャリン | 758 |
| 1月28日(土) | 邦楽(箏・尺八) | 衣袋聖志・神永大輔 | 559 |
| 1月29日(日) | 邦楽(津軽三味線・尺八) | 白田路明・神永大輔 | 681 |
| 2月4日(土) | 邦楽(津軽三味線・尺八) | 白田路明・田嶋謙一 | 537 |
| 2月5日(日) | 邦楽(尺八・三味線) | 菊池良則・山中裕史 | 609 |
| 2月11日(土) | 落語 | 桂右團治 | 504 |
| 2月11日(土) | 江戸芸かっぽれ | 櫻川ピン助社中 | 417 |
| 2月12日(日) | 落語 | 三遊亭笑遊 | 516 |
| 2月18日(土) | 冗談音楽 | やまけいじ | 502 |
| 2月19日(日) | 奇術 | 北見翼 | 640 |
| 2月25日(土) | マジック | 西ゆかり | 509 |
| 2月26日(日) | 指揮者形態模写 | 好田タクト | 432 |
| 3月3日(土) | 琵琶 | 川嶋信子 | 404 |
| 3月4日(日) | 琵琶 | 川嶋信子 | 554 |
| 3月10日(土) | 落語 | 桂小南治 | 504 |
| 3月10日(土) | 江戸芸かっぽれ | 櫻川ピン助社中 | 428 |
| 3月11日(日) | 落語 | 桂南なん | 485 |
| 3月17日(土) | ジャグリング | 三雲いおり | 678 |
| 3月18日(日) | クラウンショー | トッタ | 429 |
| 3月20日(火・祝) | ヒットメドレー | イツフオーリーズ | 420 |

| | | | |
|----------|------|------|-----|
| 3月24日(土) | マジック | 元はじめ | 556 |
| 3月25日(日) | 太神楽 | 翁家和助 | 841 |
| 3月31日(土) | 箏 | 衣袋聖志 | 680 |

※平成23年度 「江戸博ぶらぶらプロジェクト」

1回目 8月20日・21日 江戸の町人 夏

・東京文化発信プロジェクト事業の一つである「東京発・伝統WA感動」と企画協力した。

2回目 9月17日・18日・19日 明治30年代の東京

・常設展示室の東京ゾーンでの展開を目指し、明治時代をターゲットとして実施。

3回目 1月2日・3日 江戸の町人 正月

・冬の江戸の町並みをコンセプトとし、新内流しや虚無僧の尺八演奏等を実施した。

6 ふれあい体験教室

ふれあいボランティアが企画・運営する伝統的な文化や芸能の体験型事業や、高齢者や子供を対象とした参加型事業を実施した。

ふれあい体験教室実施数 52件

ふれあい体験教室参加者数 2,200人

[実績一覧]

| 日程 | 内容 | 人数 |
|-------|-----------------|-----|
| 5月7日 | 和算のひみつ | 60 |
| 5月8日 | ときめきキモノ体験 | 23 |
| 6月4日 | 和算のひみつ | 76 |
| 6月11日 | 歌舞伎の鳴り物をならしてみよう | 130 |
| 7月3日 | 歴史散歩「日本橋界限」 | 13 |
| 7月9日 | ときめきユカタ体験 | 47 |
| 7月21日 | 江戸切子体験 | 12 |
| 7月22日 | 江戸切子体験 | 14 |
| 7月24日 | ときめきユカタ体験 | 47 |
| 7月30日 | 歌舞伎隈取体験（子供向け） | 16 |
| 7月30日 | 和算のひみつ | 74 |
| 7月31日 | ぎやまん彫りに挑戦しよう | 26 |
| 8月6日 | 藍の生葉染め体験教室 | 21 |
| 8月6日 | ときめきユカタ体験 | 49 |
| 8月13日 | 和算のひみつ | 80 |
| 8月20日 | 親子でつくろう「パタパタ」 | 30 |
| 8月20日 | 歌舞伎の鳴り物をならしてみよう | 160 |
| 8月20日 | 浮世絵摺り体験 | 20 |
| 8月21日 | ときめきユカタ体験 | 49 |
| 8月21日 | 万華鏡をつくろう | 44 |
| 8月28日 | 和算のひみつ | 67 |
| 9月3日 | 神無月体験茶席 | 39 |
| 10月1日 | 藍染め体験 | 45 |
| 10月2日 | 万華鏡をつくろう | 28 |
| 9月4日 | 和算のひみつ | 52 |

| | | |
|--------|--------------------|-------|
| 10月2日 | ときめきキモノ体験 | 22 |
| 10月2日 | 歴史散歩「大名屋敷と桜田門」 | 22 |
| 10月8日 | 万華鏡をつくろう | 30 |
| 10月16日 | 和算のひみつ | 47 |
| 10月30日 | ときめきキモノ体験 | 25 |
| 11月13日 | 8枚羽根の風車をつくろう | 32 |
| 11月19日 | ぼち袋を摺ろう | 30 |
| 11月26日 | 師走体験茶席 | 34 |
| 12月3日 | 和算のひみつ | 45 |
| 12月4日 | 歴史散歩「日本橋界限」 | 14 |
| 12月10日 | 扇子遊びをしよう | 38 |
| 12月10日 | 歌舞伎隈取体験（大人向け） | 16 |
| 12月10日 | ときめきキモノ体験 | 25 |
| 12月17日 | 和算のひみつ | 46 |
| 1月14日 | 万華鏡をつくろう | 31 |
| 1月15日 | 睦月体験茶席 | 39 |
| 1月21日 | 節分の鬼をつくろう | 42 |
| 1月22日 | ときめきキモノ体験 | 26 |
| 1月28日 | 和算のひみつ | 64 |
| 1月28日 | 歌舞伎の鳴り物をならしてみよう | 81 |
| 2月4日 | ぎやまん彫りに挑戦しよう | 18 |
| 2月11日 | 浮世絵を組み立てよう | 55 |
| 2月18日 | 弥生体験茶席 | 34 |
| 2月19日 | 歴史散歩「北斎ゆかりの場所を訪ねる」 | 15 |
| 2月25日 | 扇子遊びをしよう | 56 |
| 3月3日 | ときめきキモノ体験 | 31 |
| 3月10日 | 和算のひみつ | 60 |
| 3月10日 | 和算のひみつ | 60 |
| 3月11日 | ときめきキモノ体験 | 23 |
| 3月17日 | 和算のひみつ | 76 |
| | 合計 52件 | 2,200 |

7 ミュージアムトーク

日 時 毎週金曜日の16時～16時30分（休館のため4月は未実施）

回 数 計51回

参加者数 1,580人

学芸員による展示解説。企画展や特集展示などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介した。

[実績一覧]

| 日時 | 担当 | コーナー・テーマ | 人数 |
|------|------|-------------------------|----|
| 5月3日 | 眞下祥幸 | 特集展示「豆腐小僧あらわる！」みどころ | 76 |
| 5月4日 | 眞下祥幸 | 特集展示「豆腐小僧あらわる！」みどころ | 38 |
| 5月6日 | 田中裕二 | 特集展示「オイレンブルク伯爵のみた幕末の江戸」 | 43 |

| | | | |
|--------|----------------------|--------------------------|----|
| | | みどころ | |
| 5月13日 | 斎藤慎一 | 城普請 | 32 |
| 5月20日 | 斎藤慎一 | 城普請 | 26 |
| 5月27日 | 小山周子 | 市民文化と娯楽 | 20 |
| 6月4日 | 小山周子 | 市民文化と娯楽 | 31 |
| 6月11日 | 丸山はるか | 芝居と遊里 | 25 |
| 6月18日 | 丸山はるか | 芝居と遊里 | 29 |
| 6月26日 | 眞下祥幸 | 江戸の商業 | 56 |
| 7月1日 | 眞下祥幸 | 江戸の商業 | 36 |
| 7月8日 | 市川寛明 | 安政江戸地震 | 75 |
| 7月15日 | 市川寛明 | 安政江戸地震 | 37 |
| 7月22日 | 阿部由紀洋 | モダン東京 | 22 |
| 7月29日 | 阿部由紀洋 | モダン東京 | 47 |
| 8月5日 | 小山周子 | 江戸の美 | 27 |
| 8月12日 | 小山周子 | 江戸の美 | 27 |
| 8月19日 | 田中実穂 | 企画展「市民からのおくりもの 2011」みどころ | 17 |
| 8月26日 | 西村直子 | 企画展「市民からのおくりもの 2011」みどころ | 14 |
| 9月2日 | 吉田奈緒子 | 町の暮らし | 27 |
| 9月9日 | 吉田奈緒子 | 町の暮らし | 21 |
| 9月16日 | 杓沢博行 | 企画展「市民からのおくりもの 2011」みどころ | 14 |
| 9月23日 | 田中実穂 | 企画展「市民からのおくりもの 2011」みどころ | 7 |
| 9月30日 | 丸山はるか | 芝居と遊里 | 26 |
| 10月7日 | 丸山はるか | 芝居と遊里 | 18 |
| 10月14日 | 原田知佳 (徳川記念財団学芸員) | 企画展「日光東照宮と将軍社参」みどころ | 36 |
| 10月21日 | 中野晶子 (徳川記念財団研究員) | 企画展「日光東照宮と将軍社参」みどころ | 42 |
| 10月28日 | 柳田直美 (徳川記念財団学芸部長) | 企画展「日光東照宮と将軍社参」みどころ | 65 |
| 11月4日 | 眞下祥幸 | 企画展「日光東照宮と将軍社参」みどころ | 51 |
| 11月11日 | 吉田奈緒子 | 町の暮らし | 18 |
| 11月18日 | 吉田奈緒子 | 町の暮らし | 14 |
| 11月25日 | 松井かおる | よみがえる東京 | 15 |
| 12月2日 | 松井かおる | よみがえる東京 | 14 |
| 12月9日 | 丸山はるか | 企画展「絵で楽しむ忠臣蔵」みどころ | 48 |
| 12月16日 | 丸山はるか | 企画展「絵で楽しむ忠臣蔵」みどころ | 25 |
| 12月23日 | 阿部由紀洋 | 江戸の商業 | 21 |
| 1月6日 | 阿部由紀洋 | 江戸の商業 | 25 |
| 1月13日 | 橋本由起子 | 企画展「龍」みどころ | 31 |
| 1月20日 | 橋本由起子 | 企画展「龍」みどころ | 28 |

| | | | |
|-------|-------|------------------------|----|
| 1月27日 | 阿部由紀洋 | 武士の暮らし | 34 |
| 2月3日 | 阿部由紀洋 | 武士の暮らし | 21 |
| 2月10日 | 吉田奈緒子 | 出版と情報 | 16 |
| 2月17日 | 吉田奈緒子 | 出版と情報 | 18 |
| 2月24日 | 松井かおる | 特集展示「太陽の塔 黄金の顔」みどころ | 45 |
| 3月2日 | 松井かおる | 特集展示「太陽の塔 黄金の顔」みどころ | 41 |
| 3月9日 | 橋本由起子 | 市民文化と娯楽 | 13 |
| 3月16日 | 橋本由起子 | 市民文化と娯楽 | 17 |
| 3月23日 | 小林淳一 | 首都東京の誕生 | 26 |
| 3月28日 | 松井かおる | 特集展示「太陽の塔 黄金の顔」みどころ | 45 |
| 3月28日 | 斎藤慎一 | 企画展「芝 増上寺～秀忠とお江の寺」みどころ | 53 |
| 3月30日 | 小林淳一 | 首都東京の誕生 | 27 |

8 ワークショップ

常設展示5階体験コーナーにおいて、企画展や特別展に関連したワークショップを実施し、教育普及事業の充実を図った。

① 企画展「歴史の中の龍」関連ワークショップ 辰年書初め体験

日 時 平成24年1月2日(月)、3日(火) 11:00～15:30

内 容 正月の書初めの機会を提供するため、平成24年の干支である「辰」にちなんだ「たつ」や「龍」など文字を2枚書いていただき、そのうち1枚は企画展「歴史の中の龍」展の入口に展示し、1枚はお持ち帰りいただいた。
また、講師に招いた大東文化大学書道科の学生によるパフォーマンス書道(20分)を各日2回実施した。

対 象 小学1年生以上～一般(当日申し込み)

参加人数 164人(2日)、130人(3日)

参加費 無料

② 企画展「絵で楽しむ忠臣蔵」関連ワークショップ 組上絵であそんでみよう

日 時 平成24年1月5日(木)、6日(金) 10:30～12:30 13:30～15:30

内 容 企画展で展示する「忠臣蔵五段目組上二枚続」(歌川芳藤画)から作成した「組上絵キット」を用いて、参加者に江戸から明治にかけて人気のあった組上絵の制作体験の場を提供した。

対 象 小学3年生以上～一般(当日申し込み)

参加人数 68名(5日)、106人(6日)

参加費 無料

③ 特集展「太陽の塔黄金の顔」展関連ワークショップ なりきり☆太陽の塔!!!

日 時 平成24年3月28日(水)(開館記念無料開館日)

(1回目)11:00～12:00 (2回目)13:30～14:30 (3回目)14:30～15:30

内 容 朝野新聞社前に展示した岡本太郎制作の「黄金の顔」を参考に、参加者が白の紙皿にマジックや折り紙で顔の面を工作し、それをかぶり、思い思いのポーズをしてもらい、写真撮影を行った。

対 象 小学1年生から一般

参加人数 各回20人 総人数60人

受 付 当日受付(予約不要、先着順)

参加費 無料

9 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい市民に親しまれる開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行実施を行った。

本年は、本館261名、分館212名体制により、本館では8,986件のガイド、分館では茅葺き農家燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

(1) 本館ボランティア

① 登録人数（平成24年3月31日現在）

展示ガイドボランティア 205名

ふれあいボランティア 56名（この内、展示ガイドとの兼任35名）

合計 261名

② 活動日時

火曜日～日曜日（開館日） 10時～16時

毎日15人程度のグループで活動

③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する案内、団体来館者に対する事前案内

日本語、英語、ドイツ語、中国語、フランス語、ハンガール、スペイン語、ロシア語

江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営

④ 対応件数（平成23年4月～24年3月）

外国語による案内件数 3,026件

日本語による案内件数 5,770件

団体事前案内件数 13件

スポット解説 177件

⑤ ボランティア対象の研修

研修実施回数 16回

研修参加者数（延べ人数） 387人

(2) たてもの園ボランティア

① 登録人数（平成24年3月31日現在）

・正規ボランティア「ひじろ会」 212名（男性133名、女性79名）

火曜日班34名、水曜日班33名、木曜日班35名、金曜日班35名、

土曜日班43名、日曜日班32名

② 活動日時

火曜日～日曜日及び臨時開園日 9時45分～17時（10月から3月は16時まで）

③ 活動内容

・正規ボランティア

茅葺き農家の燻煙と周辺整備…4棟

（吉野家、八王子千人同心組頭の家、天明家、綱島家）

園内ガイド（団体ガイド・定時ガイド・センターガイド・戸別ガイド）

たてもの園事業への参画（催事の企画実施、学校連携事業、年中行事等）

建物の情景再現としての自主活動（藁細工、風車づくり、紙芝居、農耕作業等）

・臨時ボランティア

たても園事業への参加協力

土日班を中心とした正規ボランティアの活動支援

④ 対応件数等

茅葺き農家の燻煙と周辺整備（休園日を除き毎日） 延べ302日

団体案内ガイド 188団体5,315人

定時ガイド 2,087人

ボランティア自主活動 21項目 857回

⑤ その他

正規ボランティアは10回の勉強会のほか、6月には青梅、10月には栃木県と2会の見学会を企画・実施した。

9 人材の育成

江戸東京の歴史と文化に関わる情報と博物館に対する理解を深めるため、さまざまな研修等を実施し、人材育成を図った。

(1) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込数 29校

受入者数 19名*1校実習辞退あり

期間 平成23年8月22日(月)～9月2日(金)

カリキュラム

| | 実施日 | スケジュール | 実施内容 | 実施形式 | 担当係 |
|---|----------|--------|---|-------|-------|
| 1 | 8月22日(月) | 午前 | 【オリエンテーション】 展示企画課長挨拶・実習担当者紹介・実習生自己紹介・諸注意、保険料徴収 | 講義・見学 | 展示事業係 |
| | | 午後 | 【オリエンテーション】館長挨拶 | 講義 | 展示事業係 |
| | | | 【施設管理】博物館の施設管理・館内案内 | 講義・見学 | 管理係 |
| | | | 【広報活動】博物館の広報活動 | 講義 | 事業推進係 |
| 2 | 8月23日(火) | 午前 | 【博物館の現状と課題】博物館の現状と課題 | 講義 | 展示事業係 |
| | | | 【常設展示】常設展示について | 講義 | 展示事業係 |
| | | 午後 | 【教育普及活動】ボランティア、友の会 | 講義 | 展示事業係 |
| | | | 【ボランティア活動】ボランティアによる常設展示体験 | 見学 | 展示事業係 |
| | | | 【特別展】特別展の概要、見学 | 講義・見学 | 展示企画係 |
| 3 | 8月24日(水) | 午前 | 【資料収集】資料の収集 | 講義 | 資料係 |

| | | | | | |
|----|----------|----|---|----------|---------|
| | | | 【資料管理】資料の管理と修復 | 講義 | |
| | | 午後 | 【収蔵庫】収蔵庫見学とバックヤード見学 | 見学・実習 | 資料係 |
| | | | 【展示・広報実習（1）】 展示・広報実習の説明 課題資料の割当て | 講義 | 実習PT |
| 4 | 8月25日（木） | 全日 | 【展示・広報実習（2）】 資料の収集・取扱い （A）資料の写真撮影 （B）情報カードの作成 （C）掛軸、卷子の取り扱い | 実習 | 実習PT |
| 5 | 8月26日（金） | 午前 | 【調査・研究活動】 都市歴史研究室の活動 | 講義 | 都市歴史研究室 |
| | | | 【図書室】図書資料および図書室の運営 | 講義 | |
| | | 午後 | 【展示・広報実習（3）】 基本計画の立案 | 講義・実習 | 展示事業係 |
| 6 | 8月29日（月） | 午前 | 【たてもの園】園長挨拶、たてもの園の概要、たてもの園の学芸業務、教育普及事業 | 講義 | たてもの園 |
| | | 午後 | 【たてもの園】 建造物内の演示品整理 | 実習 | |
| | | | 【たてもの園】 継続 | 講義 | |
| 7 | 8月30日（火） | 午前 | 【たてもの園】 野外博物館としてのたてもの園 園内建造物の見学と復元2棟の見学・解説 | 講義 見学 | たてもの園 |
| | | 午後 | 【たてもの園】 ボラティア活動体験 | 実習 | |
| | | | 【たてもの園】 たてもの園の展示 考古学資料と民俗資料 | 講義・見学 | |
| 8 | 8月31日（水） | 午前 | 【展示・広報実習（4）】 基本計画批評 | 実習 | 実習PT |
| | | 午後 | 【展示・広報実習（5）】 基本計画修正、展示準備 | | |
| 9 | 9月1日（木） | 全日 | 【展示・広報実習（6）】 展示作業、展示の批評、記念撮影 | 実習 | 実習PT |
| 10 | 9月2日（金） | 午前 | 【展示・広報実習（7）】広報企画について | 講義 | 実習PT |
| | | 午後 | 【展示・広報実習（7）】展覧会チラシ作成、批評 | 実習 | 実習PT |
| | | | 【学芸員実習のまとめ】 日誌記入・展示企画課長挨拶 | 講義 | 展示事業係 |

（2） 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

① 訪問学習の実施

博学ボランティア（10名）による歴史学習への対応

参加人数 84人

参加学校数 14校（小学校 0、中学校 10、高等学校 4、大学 0）

② 職場体験の実施

参加人数 14人

参加学校数 6校（中学校）

VIII 施設維持管理・貸出等

1 博物館管理運営

東京都江戸東京博物館（本館及び分館）の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

(1) 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。

また、常設展示・企画展示に関して、改善を含めた運営全般についての的確な助言を得るため、運営委員会に常設展示専門部会と企画展示専門部会を設置している。

○平成23年度東京都江戸東京博物館運営委員会

常設・企画展示専門部会合同会議

日時 平成23年6月2日（金）14時30分から16時30分まで

場所 事務棟2階 会議室

- 内容
- 1 東京都江戸東京博物館運営委員会会長の選出について
 - 2 常設展示専門部会部会長及び企画展示専門部会部会長の指名について
 - 3 22年度事業実績（平成23年2月末現在）について
 - 4 23年度事業計画及び予算について
 - 5 江戸東京博物館常設展示室リニューアルの検討状況について

※ 上記により開催予定であったが、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、中止となった。

○平成23年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会

常設・企画展示専門部会合同会議

日時 平成24年3月27日（金）14時00分から16時00分まで

場所 事務棟2階 会議室

- 内容
- 1 平成24年度事業計画及び予算について
 - 2 江戸東京博物館常設展示室リニューアルの検討状況について
 - 3 開館20周年事業について
 - 4 その他

○東京都江戸東京博物館運営委員会委員（平成24年3月末現在）

委員 藤森 照信（工学院大学教授）★

委員 上山 信一（慶応大学教授）★

委員 佐藤 一子（法政大学キャリアデザイン学部教授）★

- 委員 陣内 秀信 (法政大学デザイン工学部教授)★
- 委員 成田 龍一 (日本女子大学教授)★
- 委員 山本 与志春 (青山学院中等部長)★
- 委員 久保田 福美 (杉並区立高井戸小学校長)★
- 委員 熊倉 功夫 (静岡文化芸術大学学長)☆
- 委員 坂本 光一 (元東京都教育委員会教育長)☆
- 委員 段木 一行 (元法政大学教授)☆

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会常設展示専門部会委員 (平成24年3月末現在)

- 委員 薄井 和男 (神奈川県立歴史博物館学芸部長)
 - 委員 染川 香澄 (こども博物館研究者)
 - 委員 田中 俊行 (空間デザイナー)
 - 委員 土岐 島雄 (東京大空襲・戦災資料センタースタッフ)
 - 委員 吉見 俊哉 (東京大学大学院教授)
- 上記運営委員会委員のうち、★印の委員

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会企画展示専門部会委員 (平成24年3月末現在)

- 委員 市村 佑一 (江戸川大学学長)
 - 委員 伊東 孝 (日本大学教授)
 - 委員 川本 三郎 (文芸・映画評論家)
 - 委員 越澤 明 (北海道大学大学院教授)
 - 委員 峰岸 純夫 (東京都立大学名誉教授)
- 上記運営委員会委員のうち、☆印の委員

(2) 外部評価委員会

当該年度の事業実績につき、設定目標が効果的に実行されているか館内部において自己評価し、事務改善に結び付けるために内部評価を行うとともに、その内部評価による事業実績報告について、客観的な視点から、検証を行うため外部評価委員会を設置している。

当該年度末までの事業実績を評価の対象とするよう改善をはかり、最終の委員会は年度明けの4月に開催する。

○ 平成23年度東京都江戸東京博物館外部評価委員会

第1回

- 日時 平成23年7月8日(金) 午後2時から午後3時30分
- 場所 事務棟2階 会議室
- 内容 1 平成22年度外部評価総合評定について
2 平成23年度事業計画について

第2回 (開催予定)

- 日時 平成24年4月27日(金) 午後2時から午後4時
- 場所 事務棟2階 会議室
- 内容 平成23年度外部評価 評定について

○ 東京都江戸東京博物館外部評価委員会委員

- 委員長 段木 一行 (元法政大学教授)
- 委員 松尾 正人 (中央大学教授・副学長)
- 委員 松田 幸雄 (㈱TBSサービス 常務取締役)

委員 半田 昌之 (たばこと塩の博物館学芸部長)
委員 松原 良 (江戸東京博物館友の会会長)

○ 平成23年度東京都江戸東京たても園外部評価委員会

第1回

日時 平成23年7月4日(月) 午後2時から午後3時30分
場所 江戸東京たても園 会議室
内容 1 平成22年度外部評価総合評定について
2 平成23年度事業計画について

第2回

日時 平成24年4月20日(金) 午後1時00分から午後2時30分
場所 江戸東京博物館園 会議室
内容 平成23年度外部評価総合評定について

○ 東京都江戸東京たても園外部評価委員会委員(平成24年3月現在)

委員長 藤森 照信 (工学院大学教授)
委員 内田 青蔵 (神奈川大学教授)
委員 段木 一行 (元法政大学教授)
委員 西田 剛 (小金井市教育委員会生涯学習部長)
委員 馬場 憲一 (法政大学教授)

(3) コンソーシアム運営協議会

コンソーシアム構成団体間において、館の運営に関する基本事項及び重要事項の協議・決定を行う機関としてコンソーシアム運営協議会を設置し、(公財)東京都歴史文化財団グループの代表団体として、鹿島建物総合管理(株)及びアサヒビール(株)三者間の総合調整を行った。

(3) コンソーシアム運営協議会

コンソーシアム構成団体間において、館の運営に関する基本事項及び重要事項の協議・決定を行う機関としてコンソーシアム運営協議会を設置し、(公財)東京都歴史文化財団グループの代表団体として、鹿島建物総合管理(株)及びアサヒビール(株)三者間の総合調整を行った。

○ 平成22年度コンソーシアム運営協議会

第1回

日時 平成23年7月13日(水) 14時30分から14時35分まで
場所 事務棟2階 会議室
内容 1 平成22年度宇根伊実績報告及び決算について
2 平成23年度コンソーシアム運営方針(案)について
3 平成23年度「東京都江戸東京博物館指定管理者」共同連合体協定書第9条に係る覚書(案)について
4 危機管理マニュアルの改訂について
5 下記の電力制限、節電制限について

第2回

日時 平成24年3月6日(火) 14時から15時まで
場所 事務棟2階 会議室

- 内 容
- 1 平成24年度事業運営方針について
 - 2 平成24年度休館日について
 - 3 その他

2 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

また、「東京都江戸東京博物館条例」に基づき、江戸及び東京の歴史と文化の振興に資する講演会、講習会、研究会、鑑賞会等を実施する団体に対し、ホール375件、会議室383件、学習室1 329件、学習室2 336件、企画展示室253件、その他の施設253件を貸出した。

3 たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

4 野外収蔵（庭園保全管理）

江戸東京たてもの園内の庭園保全のため、植栽の維持・管理業務等を行った。

5 AVシステムの運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

「映像ホール」では、企画展や季節に合わせた館蔵映像資料のプログラム上映を行った。また、学校団体などへの事前ガイドや視察時の会場、特別展関連講座の会場、えどはくカルチャーの会場として使用した。

なお、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う修繕工事により、3月12日から4月30日まで臨時休館となったため、各実績については平成22年4月1日から平成23年3月11日までのものである。

(1) 映像ホール

入場者実績 22,947人

| | 利用目的 | 内 容 | 入場者実績 |
|---|-----------|--------------------------------|---------|
| 1 | ボランティアガイド | 学校団体等に対して、入館前に館の概要等をボランティアより説明 | 4,747人 |
| 2 | 視察対応 | 外部団体や大学、海外要人・機関などへの館概要説明 | 1,114人 |
| 3 | 展覧会関連 | 特別展関連映像の放映や友の会等への展示内容説明 | 220人 |
| 4 | えどはくカルチャー | 館事業「えどはくカルチャー」会場として利用 | 518人 |
| 5 | 学校団体等対応 | 当日来館された団体に対して常設展や館内の案内映像を放映する。 | 429人 |
| 6 | 企画上映 | 特別展・企画展に関連した映像や季節にふさわしい映像を放映。 | 15,919人 |

(2) 映像ライブラリー

| | |
|--------|--------------------------------|
| 設置ブース数 | 14台 (14人利用可) |
| 映像ソフト数 | 495タイトル (平成23年3月31日現在) |
| 入場者数 | 17,973人 (平成22年4月1日～平成23年3月11日) |

(3) 収蔵庫からのメッセージ

| | |
|-------|--|
| 設置台数 | 5台 |
| 映像入力数 | 38,288枚 (内24,993枚公開) (平成23年3月11日現在) |

(4) Web版収蔵庫からのメッセージ

| | |
|-------|------------------------|
| 公開画像数 | 23,538点 (平成23年3月31日現在) |
|-------|------------------------|

IX 広報事業

1 1 本館

| 種別 | 名称 | 実績 |
|-------------------|---|---|
| 館内案内 | 江戸東京博物館案内パンフレット | 日本語版 196,000部 独語版 5,000部 中国語版 (簡体字) 8,000部 中国語版 (繁体字) 4,000部 |
| 定期刊行物 | 江戸東京博物館ニュース | 年4回発行 延280,000部 |
| 取材対応 | | 420件 ※申請件数に基づき取材対応を行った件数 |
| インターネット ホームページ | 日本語版、英語版、中国語版、 ハングル版 キッズサイト | アクセス件数 8,395,371件 |
| メールマガジンの 配信 | 江戸東京博物館ニューズレター | 年12回配信 54,296通 |
| 広告の掲載 | すみだTOWN情報紙アベニュー 「月刊博物館研究」 震災後再開告知広告 (在京5大紙) アルタビジョン新宿 (夏のイベン ト告知映像CM) | 年12回掲載 (インフォメーション) 年12回掲載 平成23年4月25日～5月1日 平成23年7月16日～8月31日 (期 間中延べ360回上映) |

2 分館

| 種 別 | 名 称 | 実 績 | |
|-------------|-----------------------|----------|-----------|
| 館内案内 ガイド | 江戸東京たてもの園 案内リーフレット | 227,000部 | |
| 定期刊行物 | たてもの園だより | 年 2 回 | 延60,000部 |
| | イベント案内 | 年 4 回 | 延380,000部 |